

中日会報

公益社団法人 中部日本書道会
 編集事務局 編集部
 〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45-19
 桑山ビル 8階 C号室
 電話 (583) 19000番
 F A X (583) 1910番
 http://www.cn-sho.or.jp
 info@cn-sho.or.jp
 印刷 株式会社 荒川印刷

ごあいさつ —人工知能(AI)と書—



理事長
 伊藤 昌石

第六十七回中日書道展も間近に迫ってまいりましたが、皆様が書きましたでしょうか。六月十八日の授賞式・祝賀会では晴々としたお顔が見られますよう、楽しみにしております。

今年の十一月には愛知県・中国江蘇省主催の日中友好文化交流として、南京の江蘇省美術館において書道展が開催されます。本会からも役員の方四十名に出品していただく予定です。この行事にもない、本会も何年振りかで海外研修旅行を計画しています。会員の皆様方も多数ご参加いただけるようお願い申し上げます。

さて、近年人工知能(AI)の研究が一段と進歩して、スマホは勿論の事、医療、輸送、農業、経理、経

営、はては接客ロボット、自動運転自動車など、あらゆる分野に導入され、昔、目にした漫画やSF映画の世界が現実のものとなり始めました。機械学習やディープラーニング(膨大なデータを自動的に選別する深層学習)自然言語処理、画像認識などAI技術やそれらの技術を活用したソリューション(顧客の抱える問題、課題を解決したり要望、要求を満たすこと)を含め「人間には出来ない事をする」「人間の替わりとなる」「人間が関与しなくても出来る」という技術で、自ら学習経験を積み、判断、行動を起こすことが出来るという事です。しかし、あまり活用が進むと、人間が不要となり、十五年後には現在の四割の就業者(人間の仕事)が不要になるのではという研究機関の調査もあるようです。

我々書道芸術を学ぶ者にはそれほど危機感を感じられませんが、何が起るかわからない時代、今こそ書を通して日本人の豊かな心、人間形成の繋がりに、情緒感性、美意識を育成して、人工知能(AI)でははかり知ることの出来ない文化の伝承に努める事が責務だと思えます。次世代を担う方々の健全なる育成の為に、中部日本書道会が一丸となり「書」の魅力を啓蒙して行きましょう。

目次

- 1 理事長あいさつ
平成二十八年度第二回理事会・第一回評議員会開催
- 2 祝賀懇談会・講演会
中南勢支部創立三十周年
- 3 第三十四回読売書法展 当番審査員
第六十九回毎日書道展
- 4 安藤秀川顧問地域文化功労者(文部科学大臣)表彰
改組 第三回日展東海展中日賞
- 5 第六十七回中日書道展運営委員会・日程表
- 6 平成二十八年度第二回理事会内容(抜粋)
- 12 第六十七回中日書きぞめ展・受賞者
- 21 支部だより(下半期)

平成二十八年度 第二回理事会・第一回評議員会 開催

日時 平成二十九年二月十二日(日)
 場所 名古屋観光ホテル

二十八年度第二回理事会が去る二月十二日に開催されました。

理事全員の出席をうけて、伊藤理事長の挨拶により始まり、二十九年度事業計画案・同予算案、評議員及び正会員の承認、審査会員の承認、新役員選出委員選出などの議事について熱心にかつ慎重に審議が行われすべて承認されました。

理事会終了後、引き続き第一回評議員会が安藤滴水名誉副会長の挨拶の後、定款に従い理事会での決定事項の報告会という形で開催され、決定された事項について詳細に報告されました。

内容の詳細はP2及びP6～11に記載

〈予告〉

平成二十九年年度 総会
 第六十七回 中日書道展 授賞式、功労者表彰、懇談会
 安藤秀川顧問地域文化功労者表彰

平成二十九年六月十八日(日)
 ウェスティンナゴヤキャッスル

平成28年度 第2回理事会・第1回評議員会 改組新第3回日展入賞・入選、読売書法展受賞者 祝賀懇談会 開催

祝賀懇談会を開催して

厚生部長 小島 瑞 柳

春まだ浅い二月十二日(日)、名古屋観光ホテル三階那古の間に於いて、平成二十八年度の第二回理事会、第一回評議員会の懇談会が開催されました。

始めに、鬼頭翔雲名誉副会長より「中日展がもうすぐ始まります。中日書道会が元氣あるぞというところをみせて下さい。今夜は大いに楽しみましょう」のお言葉で会場を盛り上げて頂きました。

続いて、本日お忙しい中出席頂きました十一名のご来賓、



乾杯 太田宏次名誉顧問



あいさつされる 鬼頭翔雲名誉副会長

本会役員の皆様、ご紹介の後、平成二十八年年度の日展東海展中日賞、同展初入選者、読売新聞社賞の受賞者の紹介が褒賞部長よりされ、樽本樹邨名誉会長代

と鬼頭翔雲名誉副会長より、それぞれに花束と記念品が授与されました。二十八年度の日展初入選者二十二名という素晴らしい結果、本当に皆様おめでとうございます。

次に本会名誉顧問太田宏次様より「中部日本書道会の彌栄と、受賞者の皆さんのお祝い、そして会員の皆様のご健勝を祈念しまして」と高らかに乾杯のご発声を頂き、賑やかで楽しい祝宴に入りました。

三五四名のご参加を頂き、盛況の中和やかに祝賀懇談会が終えられましたことを、心よりお礼申し上げます。



にぎやかに 日展新入選者の方々

平成二十八年度 講演会を開催して

研究部長 廣 澤 凌 舟

講師 澄懷堂美術館 井後尚久氏
演題 「弘法大師の書——灌頂歴名——」

二月十二日(日)、名古屋観光ホテル曙東の間におきまして澄懷堂美術館学芸主任・井後尚久先生をお迎えして「弘法大師の書——灌頂歴名——」という演題でご講演をいただきました。

弘法大師研究のスペシャリストである井後先生のご講演という事もあり、会場は急遽イスを追加していただく程「参加者四二〇名(会員四〇九名・会員外一一名)」の盛会となりました。

十八ページにも及ぶ資料を準備され、両界曼荼羅図の説明に始まり弘法大師の生い立ちから業績、書業等、順序立てて丁寧にご説明いただき、弘法大師の偉大さ、人となりを感じる事が出来る講演会となりました。

参加者からは「弘法大師さんの事は知っている様で知らない事ばかりでした。今日いただいたテキストをもう一度見返したうえで臨書に挑戦したいと思います」とのお言葉をいただきました。

講演終了後、多くの受講者に囲まれてにこやかに話される先生のお姿が印象的でした。

最後になりましたが、ご多用中にも拘らずご講演いただきました井後先生に厚く御礼申し上げます。

来年も講演会を開催いたします。その節は多数の参加をお待ちしております。

ありがとうございます。



井後尚久先生

中南勢支部創立三十周年

三十周年を迎えて

中南勢支部長 高根 桂 祥

三重県の中南勢の地に、昭和六十一年に産声を上げた中南勢支部も、今年三十年の節目を迎えました。初代支部長は既に鬼籍の人となられた山浦鴻芳氏、中橋香山氏、そして現在もご活躍の服部青洞氏には十年間という長きに亘って支部を支えて頂きました。そして、佐久美泉涯氏、世古口大虚氏と受け継がれ、三十年の節目を迎えた今、無力ながらも、皆様に支えて頂きながら六代目の支部長を務めさせて頂いております。

支部展・研修会・支部集会・講演会の行事を柱に、会員相互の研鑽と親睦を図りつつ、地域に密着した書道団体



30周年記念展 三重県立美術館・県民ギャラリーにて (H29.2.1～5)

として絶えることなく続いて参りました。改めて振り返ると、多くの先生方と会員の皆様の書への情熱を再認識する思いです。

節目には、特別企画も行って参りましたが、今回の三十周年記念展では、親しみ易く、身近な書を展示することにより、書への門戸を開きたいという思いから、若年層や準会員の方々の作品も募りました。

出品者には合同立休作品を加え、二点の出品と致しました。合同作品は其々が好きな詩歌や言葉を半紙大に書きました。予算不足の中、役員谷鴻風氏が自力で畳一畳大の黒マット四枚、屏風仕立てに作製、八十八点の作品を貼り込む作業に九二日、苦戦致しましたが何とか会期直前にカラフルに出来上がりました。作業を通して仲間頼もしさ有難さも実感出来、心から感謝の気持ちで一杯です。来場の皆様より「書が身近に感じられ書いてみたくなった」との感想も聞かれました。



信楽への研修旅行



平成12年秋 志賀の旅 会員の皆の若い顔を見ると 17年の歳月を感じます。



平成26年 明治村研修旅行「10年後に届く手紙」を書く



平成27年度の講演会

過去、三年間の行事

- 平成二十六年度行事
 - 支部研修旅行 六月二十九日
 - 明治村「十年後に届く手紙」を書く。
 - 支部集会・講演会・懇談会 十月十二日
 - 講師 本居宣長記念館館長 吉田悦之氏

- 「本居宣長の業績」
- 平成二十七年年度行事
 - 支部研修旅行 五月十七日
 - 京都・太秦東映映画村・妙心寺
 - 支部集会・講演会・懇談会 十月十一日
 - 講師 花井峯郎氏「気になる言葉」

- 平成二十八年年度行事
 - 支部研修旅行 五月二十五日
 - 奈良・杉岡華邨美術館・奈良国立博物館
 - 支部集会・講演会・懇談会 十月二日
 - 講師 井村直瑛氏「外食産業の始まりの頃」

- 「みやび」にて懇談会
- 中南勢支部三十周年記念展 二月一日～五日
- 於 三重県美術館・県民ギャラリー

私事ですが、本部の「八十年の歩み」を再読しますと、今は亡き坪井正庵先生(昭和五十一年理事長)の時代から、中日書道会の会員として学ばせて頂いて参りましたことに感慨を覚えます。今後とも、本部はじめ皆様のご指導、ご支援を、宜しくお願い申し上げます。

第三十四回 読売書法展
第六十九回 毎日書道展

当番審査員

第三十四回 読売書法展

第六十九回 毎日書道展

◇審査顧問 黒野 清宇

◇特別賞選考委員 黒野 清宇

黒野 清宇 樽本 樹邨

◇当番審査員

〈漢字部門〉

今田 昌宏 大池 青岑

太田 海軒 鬼頭 翔雲

後藤 汀鶯 松下 英風

〈かな部門〉

早川 修 村瀬 俊彦

〈篆刻部門〉

加藤 秀慧 平田 蘭石

◇会員賞選考委員

〈漢字〉

加藤 裕

〈大字書〉

中村 立強

〈漢字II類〉

加藤 裕

〈かなI類〉

川崎 尚麗

〈近代詩文書〉

佐藤 冬泉

〈大字書〉

高橋 栖雲

〈篆刻〉

武内 峰敏

原田 凍谷

横山 夕葉

林 寶邨



顧問 安藤 秀川氏

地域文化功労者表彰

ご受賞

平成二十八年十二月二日

おめでとうございます。
永年にわたる地域文化の振興に顕著な功績が認められ地域文化功労者として表彰されました。

改組 新 第三回日展東海展

中日賞を受賞して

工藤 俊 朴

受賞に際しお世話になった先生方に対し、心よりお礼申し上げます。

昨年三月で高校書道教員に終止符、気分的に余裕が出来た事もよかったのかとは思いますが、昨年の日展は落選（私自身としては精一杯書き、一番好きな作品でした）、その作品に対しある先生から「ちょっと強さが足りないのかなあ...」の指摘をいただいたことで今年「強さを出そう」、敢えて昨年と同形式の二・六尺×六尺に縦で字数を減らして挑戦することにしました。

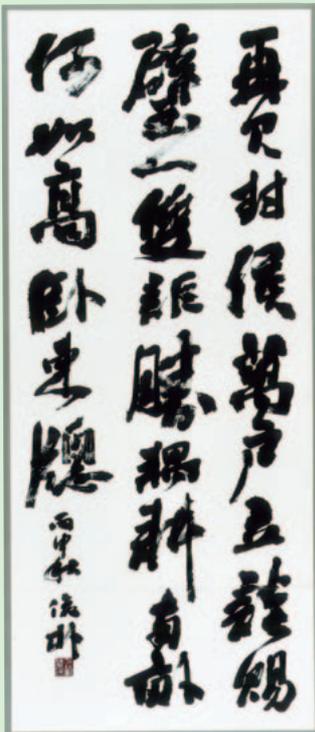
平素基盤としていた古典は呉昌碩、米芾、馮子振ですが、今回はあまり古典を意識せず「自分なりの書き方で強さを加える。」の一点での制作でした。（まだまだ未熟なもの）

受賞後、ある先輩の言葉から、「この作が蘇東坡の「禮木詩卷」や「次辯才韻詩」に似ていることを発見、自分でも驚いています。今までは東坡は、奇を衒った様な長い線

があったり、重量感が先んじていること等でむしろ避けていた古典だったからです。

今回の受賞で得たことは、「先達はあらかまほしきものなり」ということと、古典はそれぞれ全く別々の物ではなくどこかで繋がっているものであるということ。そして究極は王羲之や顔真卿にたどり着くのか？ その糸口を発見した気がします。

この賞を機に更なる精進をしなければと思いますので、よろしくご指導ご鞭撻賜ります様お願い申し上げます。



王 維 詩

第六十七回中日書道展運営委員会開催

第一事業部長 伊藤 仙游

桜の花も満開の四月九日(日)午後五時から、ホテルキャッスルプラザに於いて第六十七回中日書道展運営委員会が開催されました。名誉会長代行樽本樹郎先生・名誉副会長安藤滴水先生、鬼頭翔雲先生及び常任顧問の先生方の御臨席を賜り、理事・監事・各部部长・副部长・主任の先生方・協賛会員の方々など総勢一五五名のご参加を頂く事が出来ました。また、昨年

引き続き多くの表具店様に出席頂くことができ、心より御礼申し上げます。会議は大池青岑総務部長兼企画委員長の進行により開会。理事長伊藤昌石先生より、「桜の花は今や満開ですが、中日書道展は今日が開花宣言。展覧会が始まる頃に満開となり大輪の花を咲かせますよう、皆様の絶大なご協力をお願い申し上げます」旨の御挨拶を戴きました。



中日展運営委員会では綿密な打ち合わせがおこなわれました



続いて副理事長兼事務局長根玉振先生より、名誉副会長・常任顧問の紹介、事務分掌各部部长・副部长の紹介、ご出席の協賛会員の紹介等が行われ、第一事業部長伊藤仙游より第六十七回中日書道展日程等の説明があり、その後は各部に分かれ熱心な討議が行われました。懇談会は小島瑞柳厚生部長の司会により開会となり、名誉副会長鬼頭翔雲先生から「ご出席の皆様のご協力を頂き、一人でも多くの出品を得て盛大に開催できますように。」とのご挨拶を頂きました。その後常任顧問土屋陽山先生の声高らかな乾杯のご発声頂き開宴、和やかな空気が拡がりました。

第六十七回中日書道展が盛大かつ順調に開催できますように、皆様方のご協力を心からお願い申し上げます。

第六十七回 中日書道展 日程表

四月十四日(金)	書類(取扱店へ)		
四月十九日(水)	書類搬入(業者) 本部へ	中部日本書道会本部	受付 午前十時～十一時半 作業 午後三時まで
五月十二日(金)	愛知県産業労働センター 依嘱・無鑑査・一科・二科裏打ち作品搬入		午前九時～午後五時
五月十三日(土)	一科・鑑査	一部・二部・三部・四部・五部	午前九時～午後五時
五月十四日(日)	特別賞選考(依嘱・無鑑査)		午前九時～午後三時
五月十五日(月)	裏打ち作品搬出		午後四時～午後六時
六月十二日(月)	名古屋市民ギャラリー栄 無鑑査(一部)(中日賞・桜花賞は泉美に展示)		搬入 午後一時～午後五時 陳列
六月十三日(火)	展覧会役員作品展示	第一日	午前九時半～午後六時
六月十四日(水)		第二日	午前九時半～午後六時
六月十五日(木)		第三日	午前九時半～午後六時
六月十六日(金)		第四日	午前九時半～午後六時
六月十七日(土)		第五日	午前九時半～午後六時
六月十八日(日)		第六日	搬出 午後四時～午後六時
六月十三日(火)	愛知県美術館ギャラリー 審査顧問・特別出品・一科審査会員・二科審査会員・依嘱(一部～五部)・無鑑査(一部～五部)(一部～五部の海部俊樹賞・大賞・準大賞・中日賞・桜花賞を含む)		搬入 午後一時～午後六時 陳列
六月十四日(水)	展覧会役員作品展示	第一日	午前十時～午後六時
六月十五日(木)		第二日	午前十時～午後六時
六月十六日(金)		第三日	午前十時～午後八時
六月十七日(土)		第四日	午前十時～午後六時
六月十八日(日)		第五日	搬出 午後四時～午後六時
六月十九日(月)	名古屋市博物館 一科搬入・陳列		搬入 午後二時～午後五時 陳列
六月二十日(火)	一科展覧会	第一日	午前九時半～午後五時
六月二十一日(水)		第二日	午前九時半～午後五時
六月二十二日(木)		第三日	午前九時半～午後五時
六月二十三日(金)		第四日	午前九時半～午後五時
六月二十四日(土)		第五日	午前九時半～午後五時
六月二十五日(日)		第六日	午前九時半～午後五時
六月二十六日(月)	休館日		
六月二十七日(火)	一科搬出・二科搬入		一科搬出 午前九時半～正午 二科搬入 午後二時～午後五時
六月二十八日(水)	二科展覧会	第一日	二科陳列 午後二時～午後五時
六月二十九日(木)		第二日	午前九時半～午後五時
六月三十日(金)		第三日	午前九時半～午後五時
七月一日(土)		第四日	午前九時半～午後五時
七月二日(日)		第五日	搬出 午後三時～午後五時

※授賞式・祝賀会 六月十八日(日) ウェスティンナゴヤキャッスル(予定)

平成二十八年 度 公益社団法人 中部日本書道会 第二回 理事会 内容 (より 抜 粋)

日 時 平成二十九年二月十一日(日)
場 所 名古屋観光ホテル

平成二十八年 度 公益社団法人 中部日本書道会 第二回 理事会 次 第

一、開会のことば
二、理事長あいさつ
三、議 事

第一号議案

平成二十九年 度 事業計画(案)に
関する件

収支予算書

(2) 正味財産増減予算書

(3) 事業区分後の正味財産増減予算書

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

第三号議案 評議員の承認に関する件

第四号議案 正会員の承認に関する件

第五号議案 審査会員の承認に関する件

第六号議案 新役員選考委員選出に関する件

四、閉会のことば

第一号議案 平成二十九年 度 事業計画(案) に関する件

I 書道普及振興事業(公益目的事業 1)

一 展覧会等の事業

本会は、展覧作品の審査を行う公募展である
中日書道展を企画運営することによって、従来
より、書道文化の普及発展に寄与していること
は周知されていることである。加えて、初心者、
若年層および地域の書道愛好家のために、これ
にふさわしい書道展の開催も必要不可欠である
。そのため本会では、中日書きぞめ展、一
宮支部学生展、半田支部学童書道展、西三河支
部学生展を出展作品審査を行う公募展として開
催する。

また、書道芸術の発展のためには、書の技量の
上達だけでなく、書に関する幅広い教養の習得も
必要である。このため、本会では、書道教育研修
会、公開講座、講演会、研修会を実施する。

- (1) 中部日本書道会第六十七回中日書道展
会期 平成二十九年六月十三日～七月二日
会場 愛知県美術館・名古屋市民ギヤ
ラリー栄・名古屋市博物館
- (2) 第六十八回中日書きぞめ展
会期 平成三十年三月十七日～十八日(予定)
会場 ナディアパーク アトリウム(予定)
中日支部学生書道展
- (3) 第四十六回一宮支部学生書道展
会期 平成二十九年十一月二十五日～二十六日
会場 一宮スポーツ文化センター
第五十二回半田支部学童書道展
会期 平成二十八年七月
会場 半田市福祉文化会館(雁宿ホール)
第五十回記念西三河学生書道展
会期 平成二十九年七月七日～九日
会場 岡崎市美術館
- (4) 第二十九回書道教育研修会
日時 平成二十九年十月九日
会場 名古屋国際センター
第二十一回公開講座
日時 平成二十九年十一月二十六日
会場 電気文化会館イベントホール
- (5) 講演会
本部(三十年二月)、一宮(三十年三月)、
半田(三十年三月)、西三河(三十年三月)、
東三河(八月)、濃飛(七月)、岐阜(五月)
- (6) 研修会・講習会
半田(十一月)、東三河(十月)、
中南勢(十月)、岐阜(十一月)
支部公開講座
半田 十月
会場 半田市福祉文化会館

II 福祉事業(公益目的事業 2)

本会では、従来より社会福祉法人への募金に
よる社会事業への協力奉仕を行っている。引き
続き本年度も、会員のうち有志から募金を募り、
社会福祉法人中日新聞社会事業団および社会福
祉法人東海テレビ福祉文化事業団に寄付をおこ
なう。

- (1) 二〇一七年チャリティ愛の募金
—しあわせ薄い人々に愛の手を—
期間 平成二十九年十月～十二月
- III その他の事業(相互扶助等事業)
本会は、展覧作品の審査を行わない公募展及
び会員向け書道展として、書道展及び各支部に
おいて支部展・支部選抜展を行う。
新規事業として愛知県江蘇省書道展(仮)を
愛知県との共催事業として行う。
また、会員を対象として、本部講演会を開催
して、会員の資質向上に寄与することとする。
支部においては、会員向け講習会・講演会を
行い支部会員の資質向上に努めている。
このほか、本会では会員の研鑽・資質向上の
ため、本部および各支部において記念事業、研
究研修会、研修旅行を行う。
会員の福利厚生のために、必要とする事業を
行う。
- (1) 展覧作品の審査を行わない公募展及び
会員向け展覧会
① 第二十六回寿書展
会期 平成二十九年十一月二十一日～二十六日
会場 電気文化会館
支部展・支部選抜展
第六十三回一宮支部展
会期 平成二十九年十一月二十五日～二十六日
会場 一宮スポーツ文化センター
第五十一回半田支部展
会期 平成二十九年十月
会場 半田市福祉文化会館(雁宿ホール)
五十周年記念西三河支部会員
会期 平成三十年二月二十八日～三月四日
会場 安城市民ギヤラリー
第四十一回東三河支部展
会期 平成二十九年八月一日～六日
会場 豊橋市美術館
東三河支部選抜展
会期 平成三十年二月
会場 豊橋市民文化会館
濃飛支部展
会期 平成二十九年七月
会場 下呂市下呂交流館
第三十一回北勢支部展
会期 平成二十九年七月二十一日～二十三日
会場 四日市市文化会館
第三十一回中南勢支部展

- (2) 会期 平成二十九年
会場 三重県美術館
岐阜支部展
会期 平成二十九年九月
会場 岐阜市民会館
- (3) 愛知県・江蘇省書道展(仮)
中国南京市江蘇省美術館 秋頃
講演会
北勢(十一月)、中南勢(十月)
講習会
北勢(三十年二月)
- (4) 研究会
西三河(三十年三月)
研修会
本部(史跡探訪研修旅行他・十一月)、
一宮(十月)、半田(十一月)、
西三河(十月)、東三河(十月)、
濃飛(十月)、北勢(十一月)
- (5) 福利厚生事業
① 総合保険
② 会員交流会
老人会色紙贈呈
半田支部においては、例年、地域(半田市・
阿久比町・東浦町・武豊町・美浜町・南知
多町)の老人会に対して色紙を贈呈して敬
期の意を表している。
期日 平成二十九年八月
その他各種事業
- (6) ① 書道に関する調査研究および発表
② 書道教育者の推薦書および看板の交付
③ 外国研修旅行補助
④ 組織拡大事業
・ 会員章(門章・襟章)の交付
・ 会員名簿の発行
⑤ 広報活動事業
・ 中日会報・支部会報の発行
・ ホームページによる情報提供
⑥ 資料文献収集保存事業
⑦ 書道功労者等顕彰事業
⑧ その他
- (7) ① 書道に関する調査研究および発表
② 書道教育者の推薦書および看板の交付
③ 外国研修旅行補助
④ 組織拡大事業
・ 会員章(門章・襟章)の交付
・ 会員名簿の発行
⑤ 広報活動事業
・ 中日会報・支部会報の発行
・ ホームページによる情報提供
⑥ 資料文献収集保存事業
⑦ 書道功労者等顕彰事業
⑧ その他
- (8) ① 書道に関する調査研究および発表
② 書道教育者の推薦書および看板の交付
③ 外国研修旅行補助
④ 組織拡大事業
・ 会員章(門章・襟章)の交付
・ 会員名簿の発行
⑤ 広報活動事業
・ 中日会報・支部会報の発行
・ ホームページによる情報提供
⑥ 資料文献収集保存事業
⑦ 書道功労者等顕彰事業
⑧ その他

IV 管理業務

本会の事業遂行のため以下の会議を行う。
一 総会 一回(六月)
二 理事会 三回(五、六月、三十年二月)
三 評議員会 一回(三十年二月)
四 企画委員会 十二回(各月)

第二号議案 平成二十九年予算(案)に関する件 (一)収支予算書

平成29年度

収 支 予 算 書 (案)

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
公益社団法人 中 日 会 報

備 考

科 目	29年度 予算額(A)	28年度 予算額(B)	増 減 (A)-(B)	説 明
1 事業活動収支の部				
1 ① 基本財産運用収入	73,500	73,500	0	3000万×0.35%×0.7
2 特定資産運用収入	250,000	250,000	0	5400万×0.01%、国債利息
3 ③ 理事監事受取会費収入	448,000	0	448,000	理事監事140000円×32名
4 2 正会員受取会費収入	14,028,000	12,936,000	1,092,000	正会員8000円×1169名
5 3 正会員受取会費収入	20,152,000	18,480,000	1,672,000	正会員5000円×2519名
6 4 正会員受取会費収入	2,330,000	2,640,000	△310,000	正会員5000円×466名
7 5 協賛会費収入	1,125,000	1,150,000	△25,000	協賛会費25000円×45件
8 ④ 事業収入	38,083,000	35,206,000	2,877,000	
1 ① 事業収入	780,000	770,000	10,000	4000円×170点、会費外5000円×20点
2 ② 事業収入	7,766,000	6,501,500	1,264,500	支部別内訳参照
3 ③ 事業収入	5,956,000	5,778,000	178,000	支部別内訳参照
4 ④ 事業収入	375,000	375,000	0	支部別内訳参照
5 ⑤ 事業収入	2,661,000	2,000,000	661,000	支部別内訳参照
6 ⑥ 事業収入	255,000	100,000	155,000	支部別内訳参照
7 ⑦ 事業収入	100,000	100,000	0	支部別内訳参照
8 ⑧ 事業収入	270,000	300,000	△30,000	支部別内訳参照
9 ⑨ 事業収入	240,000	300,000	△60,000	支部別内訳参照
10 ⑩ 事業収入	45,000	75,000	△30,000	支部別内訳参照
11 ⑪ 事業収入	0	0	0	支部別内訳参照
12 ⑫ 事業収入	46,970,000	48,055,000	△1,085,000	支部別内訳参照
13 ⑬ 事業収入	5,824,000	5,824,000	0	支部別内訳参照
14 ⑭ 事業収入	4,313,000	4,500,000	△187,000	支部別内訳参照
15 ⑮ 事業収入	16,600,000	15,500,000	1,100,000	支部別内訳参照
16 ⑯ 事業収入	2,161,000	2,629,000	△468,000	支部別内訳参照
17 ⑰ 事業収入	94,576,000	93,493,500	1,082,500	支部別内訳参照
18 ⑱ 事業収入	0	0	0	支部別内訳参照
19 ⑲ 事業収入	1,000	1,500	△500	支部別内訳参照
20 ⑳ 事業収入	1,050,000	0	1,050,000	支部別内訳参照
21 ㉑ 事業収入	330,000	400,000	△70,000	支部別内訳参照
22 ㉒ 事業収入	215,000	345,000	△130,000	支部別内訳参照
23 ㉓ 事業収入	0	0	0	支部別内訳参照
24 ㉔ 事業収入	1,596,000	746,500	849,500	支部別内訳参照
25 ㉕ 事業収入	134,578,500	129,769,500	4,809,000	支部別内訳参照
26 ㉖ 事業収入	990,000	1,486,000	△496,000	支部別内訳参照
27 ㉗ 事業収入	784,000	763,000	21,000	支部別内訳参照
28 ㉘ 事業収入	1,051,000	1,044,000	7,000	支部別内訳参照
29 ㉙ 事業収入	8,338,000	7,447,000	891,000	支部別内訳参照
30 ㉚ 事業収入	2,275,000	559,000	1,716,000	支部別内訳参照
31 ㉛ 事業収入	10,869,000	10,576,000	293,000	支部別内訳参照
32 ㉜ 事業収入	8,923,800	7,759,300	1,164,500	支部別内訳参照
33 ㉝ 事業収入	865,100	956,100	△91,000	支部別内訳参照
34 ㉞ 事業収入	9,395,000	9,485,000	△90,000	支部別内訳参照
35 ㉟ 事業収入	82,000	82,000	0	支部別内訳参照
36 ㊱ 事業収入	2,989,100	1,896,700	1,092,400	支部別内訳参照
37 ㊲ 事業収入	239,000	427,900	△188,900	支部別内訳参照
38 ㊳ 事業収入	8178,000	7,362,000	816,000	支部別内訳参照
39 ㊴ 事業収入	100,000	1,000,000	△900,000	支部別内訳参照
40 ㊵ 事業収入	380,000	350,000	30,000	支部別内訳参照
41 ㊶ 事業収入	4,078,000	3,846,000	232,000	支部別内訳参照
42 ㊷ 事業収入	3,800,000	3,870,000	△70,000	支部別内訳参照
43 ㊸ 事業収入	100,000	1,500,000	△1,400,000	支部別内訳参照
44 ㊹ 事業収入	16,600,000	15,500,000	1,100,000	支部別内訳参照
45 ㊺ 事業収入	1,921,000	2,756,000	△835,000	支部別内訳参照
46 ㊻ 事業収入	470,000	566,000	△96,000	支部別内訳参照
47 ㊼ 事業収入	7,519,000	7,519,000	0	支部別内訳参照
48 ㊽ 事業収入	1,358,000	1,808,000	△450,000	支部別内訳参照
49 ㊾ 事業収入	286,500	336,500	△50,000	支部別内訳参照
50 ㊿ 事業収入	0	0	0	支部別内訳参照
51 ㉑ 事業収入	2,340,000	2,860,000	△520,000	支部別内訳参照
52 ㉒ 事業収入	91,921,500	89,253,500	2,668,000	支部別内訳参照

支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	滝飛	北勢	中南勢	岐阜	合計
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	滝飛	北勢	中南勢	岐阜	合計
1 支部別内訳	920,000	837,000	3,419,000	1,380,000	120,000	240,000	300,000	550,000	7,766,000
2 支部別内訳	1,520,000	1,500,000	2,936,000	0	0	0	0	0	5,956,000
3 支部別内訳	0	0	0	375,000	0	0	0	0	375,000
4 支部別内訳	860,000	450,000	390,000	0	161,000	290,000	360,000	150,000	2,661,000
5 支部別内訳	0	0	0	200,000	55,000	0	0	0	255,000
6 支部別内訳	1,190,000	0	0	0	300,000	200,000	261,000	210,000	2,161,000
7 支部別内訳	95,000	120,000	0	0	0	0	0	0	215,000
合計	4,585,000	2,907,000	6,745,000	1,955,000	636,000	730,000	921,000	910,000	19,389,000
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	滝飛	北勢	中南勢	岐阜	合計
1 支部別内訳	132,000	77,000	75,000	60,000	55,000	92,000	140,000	159,000	790,000
2 支部別内訳	0	92,000	0	230,000	0	70,000	0	0	392,000
3 支部別内訳	0	0	145,000	0	0	0	0	0	145,000
4 支部別内訳	876,000	447,000	416,000	100,000	156,000	335,000	420,000	340,500	3,090,500
5 支部別内訳	0	0	0	375,000	0	0	0	0	375,000
6 支部別内訳	1,950,000	1,350,000	2,690,000	0	0	0	0	0	5,990,000
7 支部別内訳	385,000	717,000	4,133,000	1,410,000	180,000	207,000	230,000	488,000	7,750,000
8 支部別内訳	0	133,000	0	0	0	0	0	0	133,000
9 支部別内訳	380,000	0	0	0	0	0	0	0	380,000
10 支部別内訳	1,220,000	0	0	0	0	0	0	0	1,220,000
11 支部別内訳	4,943,000	2,816,000	7,459,000	2,175,000	691,000	904,000	1,051,000	1,395,500	21,434,500
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	滝飛	北勢	中南勢	岐阜	合計
支部事務所費	1,064,000	655,000	911,000	270,000	102,000	241,000	150,000	1,114,500	4,507,500
積立金	70,000	50,000	500,000	50,000	0	30,000	0	0	700,000
積立金取崩	0	0	800,000	0	0	0	0	0	800,000
支部収支差額	-70,000	37,000	70,500	-36,500	-1,500	0	40,000	0	39,500

科 目	29年度 予算額(A)	28年度 予算額(B)	増 減 (A)-(B)	説 明
② 支 出				
1 支 出 計 額	1,005,000	2,043,000	△ 1,038,000	支部事務費含む
2 支 出 計 額	207,000	207,000	0	
3 支 出 計 額	93,000	0	93,000	
4 支 出 計 額	62,000	104,000	△ 42,000	
5 支 出 計 額	413,000	413,000	0	
6 支 出 計 額	4,946,000	4,830,000	96,000	
7 支 出 計 額	1,080,000	1,200,000	△ 120,000	
8 支 出 計 額	1,830,000	1,780,000	50,000	
9 支 出 計 額	110,000	215,000	△ 105,000	
10 支 出 計 額	733,000	711,500	21,500	
11 支 出 計 額	2,872,000	2,775,000	97,000	
12 支 出 計 額	882,000	1,027,000	△ 145,000	
13 支 出 計 額	563,000	609,000	△ 46,000	
14 支 出 計 額	9,112,000	7,902,000	1,210,000	
15 支 出 計 額	355,000	355,000	0	
16 支 出 計 額	3,672,000	2,987,000	685,000	
17 支 出 計 額	338,000	350,000	△ 12,000	
18 支 出 計 額	7,862,000	6,676,000	1,186,000	
19 支 出 計 額	1,463,100	1,492,100	△ 27,000	
20 支 出 計 額	200,000	200,000	0	
21 支 出 計 額	25,000	226,000	△ 201,000	
22 支 出 計 額	226,000	226,000	0	
23 支 出 計 額	765,000	1,585,000	△ 820,000	
24 支 出 計 額	50,000	50,000	0	
25 支 出 計 額	18,000	33,000	△ 15,000	
26 支 出 計 額	850,000	830,000	20,000	
27 支 出 計 額	324,000	330,000	△ 6,000	
28 支 出 計 額	1,996,400	1,434,400	△ 562,000	
29 支 出 計 額	42,000	42,000	0	
30 支 出 計 額	0	0	0	
31 支 出 計 額	0	0	0	
管 理 費 用 支 出 計 額	42,316,500	40,472,000	1,844,500	
事 業 活 動 収 入 支 出 計 額	134,238,000	129,727,500	4,510,500	
II 投 資 活 動 収 入 支 出 の 部				
1 投 資 活 動 収 入 支 出 計 額	0	2,000,000	△ 2,000,000	資産取崩
① 特 定 資 産 取 崩 収 入	0	0	0	
1 退 職 給 付 引 当 金 取 崩 収 入	0	0	0	
2 本 部 給 付 引 当 金 取 崩 収 入	0	0	0	
3 本 部 給 付 引 当 金 取 崩 収 入	0	0	0	
4 本 部 給 付 引 当 金 取 崩 収 入	0	0	0	
5 名 簿 費 引 当 金 取 崩 収 入	500,000	0	500,000	
6 支 助 特 定 資 産 取 崩 収 入	800,000	0	800,000	
2 活 動 収 入 支 出 計 額	1,300,000	2,200,000	△ 900,000	90周年事業 29・30年度用 西三河 四三河
投 資 活 動 支 出 支 出 計 額	0	0	0	資産積立
① 特 定 資 産 取 得 支 出	0	0	0	
1 退 職 給 付 引 当 金 取 得 支 出	144,000	72,000	72,000	
2 本 部 給 付 引 当 金 取 得 支 出	50,000	50,000	0	(平成36年)
3 本 部 給 付 引 当 金 取 得 支 出	400,000	400,000	0	
4 本 部 給 付 引 当 金 取 得 支 出	0	500,000	△ 500,000	
5 支 助 特 定 資 産 取 得 支 出	700,000	450,000	△ 250,000	一宮・半田・西三河・東三河・北勢
6 支 助 特 定 資 産 取 得 支 出	1,294,000	1,472,000	△ 178,000	
2 活 動 支 出 支 出 計 額	0	2,000,000	△ 2,000,000	10万円以上備品
投 資 活 動 収 支 差 額 計 額	1,294,000	2,472,000	△ 1,178,000	
III 財 務 活 動 収 入 支 出 の 部				
1 財 務 活 動 収 入 支 出 計 額	0	0	0	借入金
2 財 務 活 動 収 入 支 出 計 額	0	0	0	返済
財 務 活 動 収 支 差 額	0	0	0	
備 前 期 繰 越 収 支 差 額	300,000	300,000	0	
子 当 期 繰 越 収 支 差 額	46,500	-1,530,000	1,576,500	
前 期 繰 越 収 支 差 額	4,683,334	6,213,334	△ 1,530,000	
次 期 繰 越 収 支 差 額	4,729,834	4,683,334	46,500	

(注) この収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に關する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)の記載の様式によっている。

備 考	29年度予算	28年度予算	増 減	説 明
中日収入内訳				
1 審査会費	15,540,000	15,540,000	0	14000円×1110点
2 依嘱・無償査出品料	12,720,000	12,600,000	120,000	12000円×1060点
3 一科出品料	8,100,000	8,730,000	△ 630,000	9000円×900点
4 二科出品料	4,550,000	5,110,000	△ 560,000	7000円×650点
5 若年層出品料	3,050,000	3,050,000	0	5000円×610点
6 入場料	240,000	255,000	△ 15,000	300円×800名
7 入賞日録	60,000	60,000	0	200円×300部
8 中日広告料	1,800,000	1,800,000	0	40000円×45件
9 協賛店広告料	910,000	910,000	0	35000円×26件
合 計	46,970,000	48,055,000	△ 1,085,000	
事業別内訳				
1 講演会費	967,000	979,000	△ 12,000	支部は支部別内訳参照
2 券書展覧費	1,242,000	1,713,000	△ 471,000	
3 支部講習会費	392,000	379,000	13,000	支部別内訳参照
4 支部研究会費	145,000	131,000	14,000	支部別内訳参照
5 支部研修会費	3,090,500	2,576,500	514,000	支部別内訳参照
6 支部選抜展覧費	375,000	375,000	0	支部別内訳参照
7 支部学生展覧費	5,990,000	6,056,000	△ 66,000	支部別内訳参照
8 支部展覧費	7,750,000	5,263,000	2,487,000	支部別内訳参照
9 色紙展覧費	133,000	133,000	0	支部別内訳参照
10 色紙振興事業費	380,000	1,461,000	△ 1,081,000	一宮
11 普通教育研修費	772,000	772,000	0	
12 外国研修補助費	100,000	100,000	0	
13 功労者等顕彰費	335,000	335,000	0	
14 普通教育者養成費	100,000	100,000	0	
15 集総会保険事業費	253,000	316,000	△ 63,000	教室看板
16 史蹟探訪費	1,075,000	1,075,000	0	
17 普通普及事業費	2,407,000	2,009,000	398,000	企画委員会
18 周年記念事業費	0	200,000	△ 200,000	
19 情報提供事業費	268,000	268,000	0	サ↑卜運営
20 調査研究費	30,000	30,000	0	
21 資料収集費	60,000	60,000	0	
22 公開講座費	534,000	534,000	0	
23 中日書きぞめ展覧費	35,780,000	35,105,000	675,000	
24 中日書きぞめ展覧費	6,101,000	6,089,000	12,000	
25 愛の募金費	4,313,000	4,313,000	0	
26 会員交流費	340,000	631,000	△ 291,000	
27 本部祝賀会費	16,600,000	15,500,000	1,100,000	
28 支部祝賀会費	2,389,000	2,756,000	△ 367,000	支部別内訳参照
合 計	91,921,500	89,255,500	2,666,000	
管理費目別内訳				
1 会議費	4,739,000	4,531,000	208,000	本部
(1) 総会	2,068,000	1,904,000	164,000	
(2) 理事会	1,414,000	1,365,000	49,000	
(3) 理事・評議員会	1,257,000	1,262,000	△ 5,000	
(4) 役員選考委員会	72,000	0	72,000	
2 事務局費	25,913,000	25,860,000	53,000	本部
3 支部事務所費	4,507,500	4,471,000	36,500	支部別一覽参照
4 広報費	310,000	310,000	0	花、見舞金等
5 会報費	4,575,000	5,280,000	△ 705,000	在4回発行
6 名簿費	2,200,000	20,000	△ 2,180,000	29・30年度版
合 計	42,316,500	40,472,000	1,844,500	
事業及び管理合計	134,238,000	129,727,500	4,510,500	

(2) 正味財産増減予算書

平成29年度 正味財産増減予算書 (案)
自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

科 目	29年度予算額 (A) 円	28年度予算額 (B) 円	増減 (A) - (B) 円	説 明
1 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
① 基 本 財 産 運 用 利 益	73,500	73,500	0	
② 特 定 財 産 運 用 利 益	250,000	250,000	0	
③ 受 取 利 益	448,000	0	448,000	
1 理事監督受取会費	14,028,000	12,936,000	1,092,000	
2 評議員受取会費	20,152,000	18,480,000	1,672,000	
3 正 会 員 受 取 会 費	2,330,000	2,640,000	△310,000	
4 進 会 費 受 取 会 費	1,125,000	1,150,000	△25,000	
5 協 賛 費 受 取 会 費	38,083,000	35,206,000	2,877,000	
④ 事 業 収 入	780,000	770,000	10,000	
1 事 業 収 入	7,766,000	6,501,500	1,264,500	
2 支 部 展 収 入	5,956,000	5,778,000	178,000	
3 支 部 展 収 入	375,000	375,000	0	
4 支 部 研 修 収 入	2,661,000	2,236,000	425,000	
5 支 部 講 習 収 入	255,000	200,000	55,000	
6 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	100,000	100,000	0	
7 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	280,000	300,000	△90,000	
8 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	270,000	300,000	△30,000	
9 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	240,000	300,000	△60,000	
10 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	45,000	75,000	△30,000	
11 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	0	0	0	
12 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	46,970,000	48,055,000	△1,085,000	
13 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	5,824,000	5,824,000	0	
14 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	4,313,000	4,500,000	△187,000	
15 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	16,600,000	15,500,000	1,100,000	
16 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	2,161,000	2,629,000	△468,000	
17 支 部 推 薦 教 室 保 料 収 入	94,576,000	93,493,500	1,082,500	
⑤ 受 取 金 益	0	0	0	
1 受 取 金 益	1,000	1,500	△500	
⑥ 雑 収	1,050,000	0	1,050,000	
1 雑 収	330,000	400,000	△70,000	
2 雑 収	215,000	345,000	△130,000	
3 雑 収	0	0	0	
4 雑 収	1,596,000	746,500	849,500	
5 雑 収	134,578,500	129,769,500	4,809,000	
経 常 収 入 計	1,005,000	2,043,000	△1,038,000	
1 経 常 収 入 計	207,000	207,000	0	
2 経 常 収 入 計	93,000	0	93,000	
3 経 常 収 入 計	62,000	104,000	△42,000	
4 経 常 収 入 計				

5 学 術 顧 問 報 酬	413,000	413,000	0	
6 企 画 委 員 兼 務 予 予 報 酬	990,000	1,486,000	△496,000	
7 退 任 員 報 酬	4,946,000	4,850,000	96,000	
8 臨 時 雇 員 賃 金	0	0	0	
9 臨 時 雇 員 賃 金	1,864,000	1,843,000	21,000	
10 報 酬 厚 給 料	120,000	120,000	0	
11 報 酬 厚 給 料	2,881,000	2,824,000	57,000	
12 報 酬 厚 給 料	8,448,000	7,662,000	786,000	
13 報 酬 厚 給 料	1,008,000	1,270,500	△262,500	
14 旅 費	13,741,000	13,151,000	590,000	
15 旅 費	9,905,800	8,786,300	1,119,500	
16 消 耗 品 費	1,428,100	1,565,100	△137,000	
17 印 刷 費	18,507,000	17,387,000	1,120,000	
18 通 信 費	437,000	437,000	0	
19 通 信 費	6,661,100	4,883,700	1,777,400	
20 手 続 費	577,000	777,900	△200,900	
21 事 務 費	7,862,000	6,676,000	1,186,000	
22 消 耗 品 費	9,643,100	8,854,100	789,000	
23 消 耗 品 費	300,000	300,000	0	
24 負 担 費	25,000	25,000	0	
25 委 託 費	606,000	576,000	30,000	
26 委 託 費	4,843,000	5,431,000	△588,000	
27 寄 託 費	3,850,000	3,920,000	△70,000	
28 補 助 費	118,000	133,000	△15,000	
29 補 助 費	850,000	850,000	0	
30 雜 費	0	0	0	
31 支 部 演 講 費	16,600,000	15,500,000	1,100,000	
32 支 部 演 講 費	1,921,000	2,756,000	△835,000	
33 支 部 演 講 費	470,000	566,000	△96,000	
34 支 部 演 講 費	7,833,000	7,849,000	△16,000	
35 支 部 演 講 費	3,354,400	3,242,400	112,000	
36 支 部 演 講 費	286,500	336,500	△50,000	
37 支 部 演 講 費	42,000	42,000	0	
38 支 部 演 講 費	2,340,000	2,860,000	△520,000	
39 支 部 演 講 費	588,627	166,779	421,848	
40 支 部 演 講 費	134,826,627	129,894,279	4,932,348	
41 支 部 演 講 費	248,127	124,779	△123,348	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 経常外費用	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
② 経常外費用	0	0	0	
③ 経常外費用	0	0	0	
④ 経常外費用	0	0	0	
⑤ 経常外費用	0	0	0	
⑥ 経常外費用	0	0	0	
⑦ 経常外費用	0	0	0	
⑧ 経常外費用	0	0	0	
⑨ 経常外費用	0	0	0	
⑩ 経常外費用	0	0	0	
⑪ 経常外費用	0	0	0	
⑫ 経常外費用	0	0	0	
⑬ 経常外費用	0	0	0	
⑭ 経常外費用	0	0	0	
⑮ 経常外費用	0	0	0	
⑯ 経常外費用	0	0	0	
⑰ 経常外費用	0	0	0	
⑱ 経常外費用	0	0	0	
⑲ 経常外費用	0	0	0	
⑳ 経常外費用	0	0	0	
㉑ 経常外費用	0	0	0	
㉒ 経常外費用	0	0	0	
㉓ 経常外費用	0	0	0	
㉔ 経常外費用	0	0	0	
㉕ 経常外費用	0	0	0	
㉖ 経常外費用	0	0	0	
㉗ 経常外費用	0	0	0	
㉘ 経常外費用	0	0	0	
㉙ 経常外費用	0	0	0	
㉚ 経常外費用	0	0	0	
㉛ 経常外費用	0	0	0	
㉜ 経常外費用	0	0	0	
㉝ 経常外費用	0	0	0	
㉞ 経常外費用	0	0	0	
㉟ 経常外費用	0	0	0	
㊱ 経常外費用	0	0	0	
㊲ 経常外費用	0	0	0	
㊳ 経常外費用	0	0	0	
㊴ 経常外費用	0	0	0	
㊵ 経常外費用	0	0	0	
㊶ 経常外費用	0	0	0	
㊷ 経常外費用	0	0	0	
㊸ 経常外費用	0	0	0	
㊹ 経常外費用	0	0	0	
㊺ 経常外費用	0	0	0	
㊻ 経常外費用	0	0	0	
㊼ 経常外費用	0	0	0	
㊽ 経常外費用	0	0	0	
㊾ 経常外費用	0	0	0	
㊿ 経常外費用	0	0	0	
III 正味財産期末残高	114,808,275	0	114,808,275	

平成28年3月31日残高

(3) 事業区分後の正味財産増減予算書

正味財産増減予算書

(損益計算ベースかつ事業別に区分したもので)
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
公益社団法人 中部日本書道会

(単位 円)

科目	公益目的事業会計		その他事業会計 他1	法人会計	合計	備考
	公1	公2				
I 一般正味財産増減の部						
(1) 経常収益	73,500	0	0	0	73,500	
① 基本財産運用益	73,500	0	0	0	73,500	
② 特定資産運用益	250,000	0	0	0	250,000	
③ 受取	250,000	0	0	0	250,000	
特定資産受取利息	19,041,500	0	15,233,200	3,808,300	38,083,000	
理事監事受取会費	224,000	0	179,200	44,800	448,000	
評議員委員受取会費	7,014,000	0	5,611,200	1,402,800	14,028,000	
正会員受取会費	10,076,000	0	8,060,800	2,015,200	20,152,000	
準会員受取会費	1,165,000	0	932,000	233,000	2,330,000	
協賛会員受取会費	562,500	0	450,000	112,500	1,125,000	
(4) 事業収益	58,990,000	4,313,000	31,273,000	94,576,000	780,000	
寿書展収入			780,000		7,766,000	
支部学生展収入			7,766,000		5,956,000	
支部展覧展収入	5,956,000				375,000	
支部研修会収入			2,661,000		2,661,000	
支部講習会収入			255,000		255,000	
普通部員受取会費	100,000		100,000		100,000	
教員受取会費	260,000		260,000		260,000	
教員交流会収入	270,000		270,000		270,000	
公開講座参加料収入	240,000		240,000		240,000	
普通教育修習料収入			45,000		45,000	
周年記念事業収入			0		0	
中日展収入	46,970,000		46,970,000		46,970,000	
中日書きぞめ展収入	5,824,000		5,824,000		5,824,000	
愛の募金収入	4,313,000		4,313,000		4,313,000	
本部祝賀会収入	16,600,000		16,600,000		16,600,000	
本部祝賀会収入	2,161,000		2,161,000		2,161,000	
(5) 受取寄付金	0	0	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	0	0	
(6) 雑収	0	0	0	0	0	
普通預金受取利息			1,000	1,000	1,000	
会員名簿広告料収入			1,050,000	1,050,000	1,050,000	
宛名フリ宛り手数料収入			330,000	330,000	330,000	
負担金収入			215,000	215,000	215,000	
経常収益計	78,355,000	4,313,000	46,506,200	5,404,300	134,578,500	
(2) 経常費用					0	
理事監事報酬			1,005,000	1,005,000	1,005,000	
名誉会長報酬			207,000	207,000	207,000	
名誉会長代行報酬			93,000	93,000	93,000	
名誉顧問会長報酬			62,000	62,000	62,000	
学術顧問報酬			413,000	413,000	413,000	
顧問を募る顧問酬	891,000		99,000	990,000	990,000	
従業員給料手当	3,956,800		494,600	4,451,400	4,451,400	
退職金			0	0	0	
臨時雇賃金	1,677,600		186,400	1,864,000	1,864,000	
福利厚生費	96,000		12,000	120,000	120,000	
報償費	7,603,200		844,800	2,881,000	2,881,000	
報償費	504,000		504,000	1,408,000	1,408,000	
報償費	10,992,800		2,748,200	13,741,000	13,741,000	
食糧	7,924,640		1,981,160	9,905,800	9,905,800	
消耗品費	1,142,480		285,620	1,428,100	1,428,100	

印刷製本費	8,000,000	507,000	10,000,000	18,507,000
光熱水費	349,600	43,700	43,700	437,000
通信運搬費	5,994,990	666,110	6,661,100	6,661,100
手運料	519,300	57,700	577,000	577,000
事務所賃料	6,289,600	786,200	7,862,000	7,862,000
使役用	7,714,480	1,928,620	9,643,100	9,643,100
消耗什器備品費	240,000	60,000	300,000	300,000
租税公課		25,000	25,000	25,000
負担金	606,000	606,000	606,000	606,000
委託託料	3,874,400	968,600	4,843,000	4,843,000
委託託費		3,850,000	3,850,000	3,850,000
補助福利	680,000	118,000	850,000	850,000
雑支		85,000	85,000	85,000
本部講演会祝賀会費		16,600,000	16,600,000	16,600,000
支部展覧会祝賀会費		1,921,000	1,921,000	1,921,000
会員交流費		470,000	470,000	470,000
対外広報費	6,266,400	1,566,600	7,833,000	7,833,000
会費	2,683,520	670,880	3,354,400	3,354,400
休職費		286,500	286,500	286,500
新聞図書料	1,872,000	42,000	1,914,000	1,914,000
表装保管料		468,000	468,000	468,000
減価償却費	470,903	58,862	529,765	529,765
経常費用計	79,743,713	4,357,000	47,440,552	3,285,362
当期経常増減額	△1,388,713	△44,000	△934,352	△2,118,938
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	△1,388,713	△44,000	△934,352	△2,118,938
一般正味財産期首残高				115,056,402
指定正味財産増減の部				114,808,275
一般正味財産への振替額				0
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				114,808,275

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

事業年度	資金調達及び設備投資の見込みについて		法人コード	公益社団法人 中部日本書道会
	自	至		
事業年度	平成29年4月1日	平成30年3月31日	A002493	

(1) 資金調達の見込みについて
当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入れ先等を記載してください。

事業番号	借入れの予定	借入れ先	金額	使途
			なし	

(2) 設備投資の見込みについて
当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

事業番号	設備投資の予定	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
			なし	

平成二十八年度 第二回理事会 承認事項 新審査会員・新正会員の承認

第五号議案

審査会員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会展覧会開催規定第九条の規定により、左記の者を審査会員としての委嘱の承認を求めらる。

この承認は平成二十九年四月一日付けとする。

※第三号議案にて、左記の二科審査会員として承認された者は評議員として承認を受けました。

●二科審査会員

第一部 (三十四名)

阿賀 美翠	安藤 静歩
伊藤 玉冰	伊藤 江麗
伊藤 昌郷	奥住 易洲
尾中 杉得	片岡 蘭芳
上蘭 華蓮	北村 虹景
窪田 蝶華	桑原 静光
千田 道山	田島 麗華
巽 麗都	多和田美穂
中西 草城	中村 青煽
丹羽 藍水	野田 佳楊
服部 青巒	花井 明琴
林 幸湖	原 翠舟
原田 溪華	平原 皓月
深井 尚子	藤田佐喜子
水田 珪華	溝口 渺然
宮 希蓉	村林 龍鳳
山田 秀謙	山田 正代

第二部 (七名)

石井 照葉	加藤 月苑
木島 静月	竹内 紫峰
永島 育子	堀田 花
村田 華泉	

第三部 (十一名)

岩崎 玉楊	神谷千恵子
川村 春霞	小宇佐久美
小島 廣子	小塚 祥貞
佐藤 不朽	堀部 悠華
松井香代子	宮本 清霞
山田 鶴玲	

第四部 (四名)

加藤 一次	白柳ゆかり
永田 美幸	野田はる美

第五部 (三名)

杉浦 鶴雲	多田 青石
山本 正良	

第四号議案

正会員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会定款第五条一号により、左記の者を正会員としての承認を求めらる。この承認は平成二十九年四月一日付けとする。

●第一部 (一〇六名)

秋田 夏美	生駒 吉識
石川 彩香	石塚 映彩
石原 映花	伊藤 文野
伊藤 佳苑	伊藤 悟
伊藤 光栄	伊藤 稚子
岩場 恵子	鶴飼 玲舟
白井 静泉	打田 健
大池 遥	大島 景葉
大嶽 旭華	大野 艶友
大村 瑞苑	小田 淳子
各務 香扇	片岡 木蘭
片山 玲華	加藤 研真
加藤 新菜	加藤 雄遠
加藤 里菜	加藤 嶺花
鎌田 桃花	神谷 智子
狩生 芳泉	川瀬 実咲
川添 陽泉	神戸 笙詩
木村香代子	國枝佑衣子
久野 生麗	熊切 純暇
熊田 翠庭	栗山 博美
河和 節子	越山 和子
後藤 梢月	小林 亜也
米谷 美穂	坂上 智美
佐久間汀翠	佐古 智蕙
追中ゆかり	笹本 菜月
佐藤 彩柳	佐藤 紫栄
佐藤 爽翠	清水 美子
白井 孝心	菅野 茜
世古 瑠菜	高木 紅絲

高木 悠花

高山 莉瑠

土井 祥泉

鳥本 喜敬

内藤 陽翠

中瀬 光舟

中野 海堂

長谷川積翠

花井 志翠

濱田 梨沙

原 さやか

平岩 梨奈

平野 煌藍

平野 遊古

堀田 裕介

松元 小夏

水野 白映

宮澤美和子

村上 富子

村山 令奈

八木 恵染

柳澤 孝子

山田 華苑

湯浅はるか

山田 華苑

渡辺 紗里

伊藤 雅子

宇野 央子

河合 裕子

櫻木 彩香

藤社 葉子

水野 葉子

宮谷 江舟

横井多恵子

榎山 明子

幅 早苗

柴田 道子

川崎三枝子

加藤 準子

犬飼 昭子

青山 千峯

●第三部 (二十七名)

安保 育子

伊藤 雛子

今井 彩乃

奥山 由紀

梶田 汀雨

神村 啓江

小島 徹

澤井 純子

下村 佳風

武市 佳峰

深見 愛

古田 輝美

松井 雲海

余吾友理恵

池野 登世

川本美由紀

柘植 和代

中橋美恵子

堀内 緑

蟹江 洋子

佐野 叶子

永江 佳子

日高 節代

山本 種子

青木 和馨

榎並 勝彦

奥田すみ子

清井富比古

田村 美智

羽柴 裕子

藤井 苔山

森本 隆司

今井 徳弥

太田 柳一

加藤 清城

工藤 芳悦

西岡貴美子

日比野真理

室 静代

山村 千秋

第67回 中日書きぞめ展

会期
会場
授賞式

平成29年3月19日(日)～3月20日(月・祝)

ナディアパーク2階アトリウム 名古屋市中区栄三丁目18-1

平成29年3月20日(月・祝) ナディアパーク 3階 デザインホール

文部科学大臣賞を受賞して

旭丘高等学校 一年 守山 木乃芽



この度は、第六十七回中日書きぞめ展におきまして栄えある文部科学大臣賞をいただき誠にありがとうございます。

先生から受賞の知らせをいただいた時、思わず涙が流れました。受賞する事が出来たのは自分の努力だけでなく先生の熱心なご指導があったからだと思います。私は保育園から書道が続けており「書」を書く事が大好きです。辛い事や悩み事があった時、私はいつも書を通じて自分を励ましてきました。さらに書けば書くほど上達して私に結果と自信をくれました。そして今回の中日書きぞめ展では「文部科学大臣賞」という大きな目標に向け約三ヶ月間先生と切磋琢磨しながら書き続けました。ですから今回の受賞は私にとって掛け替えの無い大切なものとなりました。

今回の作品はこれだと思える一枚が書けたので本当に嬉しく思います。改めて審査員の先生方に感謝申し上げます。これからも更に精進を続けてまいりたいと思います。今後共にご指導の程よろしくお願い申し上げます。



上位10賞受賞者 伊藤昌石理事長との記念写真

文部科学大臣賞受賞作品



第六十七回中日書きぞめ展を終えて

——六、一〇〇人を超える来場者——

教育部長 後藤 啓 太

平成二十九年三月十九日(日)・二十日(月・祝)、名古屋失場町西、ナディアパーク二階アトリウムにて、応募点数一五、九四九点の頂点である文部科学大臣賞から奨励賞までの上位一、三七〇点の作品を展示しました。

本年は好天に恵まれ、連休であったことも幸いし、書きぞめ展会場に隣接する商業施設「ロフト」には多くの若い家族連れの人出がありました。書きぞめ展は、そうした多くの方々の興味をひき、入場者数を前年より伸ばすことができました。

来場された方からは「素晴らしい作品ですね」「学生が書いたとは思えない出来ばえ」と作品の完成度に感動された感想を多くいただきました。また、整然とした美しい陳列にもお褒めの言葉をいただきました。

中部日本書道会は、日本の伝統文化の一つである「書きぞめ」を日本国内だけでなく世界に向けても発信していく所存です。

また本年は、六月の中日展の会場に書きぞめ展の上位七十五名の作品も陳列されます。学生展を卒業して中日展へと出品される方が増えていくことが、本会の発展へつながるものと思います。多数のご観覧をお願いいたします。

最後に、協賛会員また会員の方々に多大なご協力ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

中日書きぞめ展授賞式を終えて

褒賞部長 武内 峰 敏

三月二十日(月・祝)春分の日には第六十七回中日書きぞめ展授賞式がナディアパーク三階デザインホールで行われました。会場は笑顔の受賞者と保護者の方々で一杯となりました。

式は、伊藤昌石理事長の挨拶から始まり、受賞者へお祝いの言葉をいただきました。次に審査総評が後藤啓太教育部長からありました。そして、団体賞・文部科学大臣賞と進み、理事長賞まで、出席者の一人ひとりに舞台中央で賞状賞品が手渡されました。一時間余りの式典でしたが、クラシック音楽が流れる会場は厳粛な空気の中、最後までお祝いの拍手が送られ、喜びで満たされていました。終了後の舞台上は、記念撮影で盛況となりました。

また、企画委員会の先生方には多数ご臨席いただき、盛会のうちに終わることができました。



第六十七回 中日書きぞめ展 入賞者

文部科学大臣賞

高校一年 守山木乃芽

愛知県教育委員会賞

高校一年 岩内すみれ

中日書道会賞

高校二年 浅野由希恵

小学五年 井上 詩織

愛知県知事賞

高校二年 大竹 杏奈

愛知県教育委員会賞

小学五年 野口 瑞葵

中日書道会賞

小学四年 加藤ひなた

岐阜県教育委員会賞

小学六年 池戸 美月

東海テレビ放送賞

高校二年 大羽 千晶

岐阜県知事賞

高校三年 落合 輝

三重県教育委員会賞

小学四年 大鹿 遥

中日新聞社賞

小学五年 赤塚 望

中学一年 伊藤 なこ

中学三年 野口 純伽

小学六年 鈴木 千遥

小学五年 宮崎 咲羽

小学六年 小林 実央

中学二年 吉川 雲母

三重県知事賞

中学三年 伊藤 颯

小学一年 片山 葉那

高校二年 岡田 真奈

名古屋教育委員会賞

小学四年 波多野 熙秀

高校三年 岡村実花子

高校一年 今井 真子

名古屋市長賞

高校三年 宮原 佑果

小学三年 岩間 有沙

小学三年 加藤 亜実

中学一年 窪田 真衣

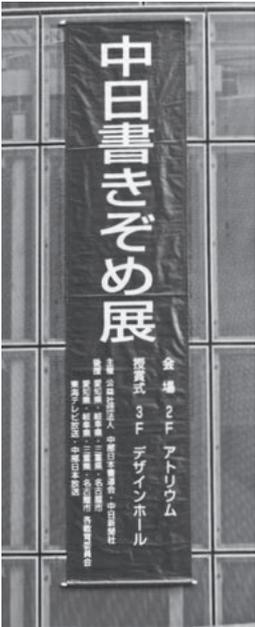
中学二年 立松 玲奈

小学六年 大野 史華

小学二年 杉江 出帆

小学三年 有沙

小学一年 加藤 嵩人



小学六年 水野 真歩

中学一年 稲垣 入葉

小学六年 柳田 優衣

小学四年 鬼頭 莉央

小学二年 坂下 彩音

小学一年 林 明奈

小学一年 田中 創也

小学一年 大鹿 桃

小学一年 高松 一茶

小学一年 白木 友梨

小学一年 佐田尾香音

小学一年 山田あゆみ

小学一年 大橋 茉奈

小学一年 小池南々葉

小学一年 加藤 亜実

小学一年 渡邊 祐奈

小学一年 今井 真子

小学一年 山田 美咲

小学一年 岡田 真奈

小学一年 鈴木 千遥

小学一年 赤塚 望

小学一年 西垣 朱梨

小学一年 宮田 美来

小学一年 焦 一媛

小学一年 鈴木 千遥

小学一年 赤塚 望

小学一年 西垣 朱梨

小学一年 宮田 美来

小学一年 焦 一媛

小学一年 鈴木 千遥

小学一年 赤塚 望



あいさつされる伊藤理事長
後方は当日参列の役員



会場風景





愛知県知事賞 高二 大竹 杏奈



愛知県知事賞 中二 吉田 多映



愛知県知事賞 小六 池戸 美月



岐阜県知事賞 高三 落合 輝



岐阜県知事賞 中一 伊藤 なこ



岐阜県知事賞 小五 宮崎 咲羽



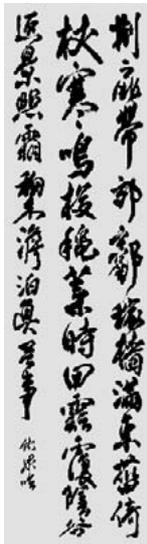
三重県知事賞 中三 伊藤 颯



三重県知事賞 小四 波多野 熙秀



三重県知事賞 小三 林 小葉



名古屋市長賞 高三 宮原 佑果



名古屋市長賞 中一 窪田 真衣



名古屋市長賞 小二 杉江 出帆

名誉会長賞

○高校三年

久保さえ香
小酒井彩花
田野尻夏妃
山口恵里佳

○高校二年

佐原 由莉
芝田 吹樹
島戸 莉子
鈴木佐和子
中川 みか
中嶋 爽翔
中山 知美
新美 佑馬
廣川 瑞樹
古瀧 真名
水野 百花
安江 望

○高校一年

安藤 裕基
石橋 茉悠
小鹿 怜菜
城内 薫乃
窪田 有桜
小池ひより
坂本 朝香
杉浦 歩
三輪むつみ
森川 舞優
山田 媛菜

○中学三年

浅見 りこ
有島 愛花
石川 朋佳
岩本 純忠
河村 紗希
今藤 千裕
齊藤 春果
谷口 友哉

玉岡奈乃羽
柘植あゆみ
中川 優衣
永家 汐菜
西村 東希
渡邊帆乃花

○中学二年

安藤 碧唯
安藤 真央
安藤有里奈
太田 美結
大野 楓華
加藤 桃子
榊田 実柚
坂本 茉優
佐藤 舞奈
佐藤 唯佳
清水 遼
関師 舞子
田中 楓乃
中上 結名
奈良 千尋
西田 彩人
藤壇万里奈
古田礼央菜
松原 希和
村田 琴美
横山 莉子

○中学一年

牛山 由衣
緒川 莉子
片岡 舞依
小瀬 由佳
近藤 柚菜
重本 真愛
鈴木 則香
中内 美京
林 その子
平本 啓恭
三三 真実

○小学六年

山田 友貴
安藤 誉純
井深 大樹
岩谷 謙汰
内田 藍
北村 美優
倉橋 杏奈
左草 沙羽
新留 亜依
高岸 桃愛
田宮 朱梨
福川 結
逸見 琴子
前田明日香

○小学五年

有馬 美都
石本 浩子
内川 桜
梅村 光紀
大村優花子
小島 康裕
小宮 修平
都築 恵実
林 美幸
福森 涼香
松島 由奈
村尾 亜子

○小学四年

若山 小梅
青山いのり
井上 咲来
久野 真子
谷口 翠
平田 玲美
堀井 彩那

○小学三年

浅野ひなた
佐藤 颯
佐藤 苑華
立松 侑純
高田奈桜子

○小学二年

高田奈桜子
榊田 史佳
谷 優来
服部 冬馬
星野 遥
森永 姫衣

○小学一年

石原 正貴
伊藤 千紘
伊藤 緋那子
大澤亜衣那
熊谷 葵
塩出 聖花
田中 湜樹
趙 慶実
中田 真衣
廣瀬 佳歩
松村 千慧
六鹿 茜

山田 友貴

福入 大輔

三浦礼依菜

市村 桃子

伊原 妃夏

宇都 鈴音

梅原 慎人

大澤ひかり

太田 菜月

栗田 花甫

服部 萌々

蛭牟田 優

鷺見 梨帆

有馬 美都

石本 浩子

内川 桜

梅村 光紀

大村優花子

小島 康裕

小宮 修平

都築 恵実

林 美幸

福森 涼香

松島 由奈

村尾 亜子

池田安里紗

北 幸一郎

重松 想葉

篠田 めい

柴田 理帆

鈴木亜紗花

田尻 夏音

榊田 史佳

安田 伊吹

山田 華凜

山田 修二

山田 大慎

湯脇 舞

生駒 祐奈

岩瀬 創平

加藤 由香

川本 怜

高阪 遥

小林 小桐

酒井 純恋

阪上 珠基

榊原 光輝

佐原 葵

庄田 乃絵

杉山 和優

竹中 恵里

立岡 真奈

長尾 利子

古市 早紀

間瀬明日花

六鹿 蘭

安江 奏南

横井佳菜子

鷺見 綾

石原 正貴

伊藤 千紘

伊藤 緋那子

大澤亜衣那

熊谷 葵

塩出 聖花

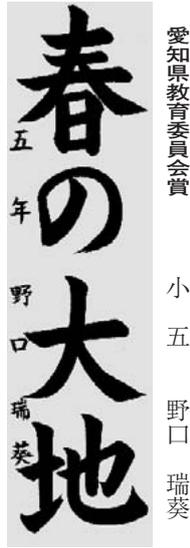
田中 湜樹



愛知県教育委員会賞 高一 岩内すみれ



愛知県教育委員会賞 中三 石井花



愛知県教育委員会賞 小五 野口瑞葵



岐阜県教育委員会賞 高二 鶴口夏菜



岐阜県教育委員会賞 中二 後藤菜の子



岐阜県教育委員会賞 小四 大鹿遥



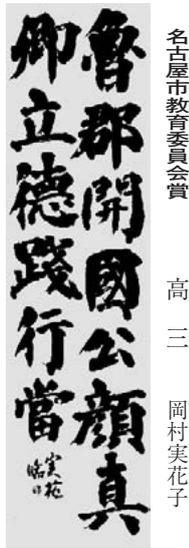
三重県教育委員会賞 中三 野口純伽



三重県教育委員会賞 中一 片山葉那



三重県教育委員会賞 小六 小林実央



名古屋市教育局賞 高三 岡村実花子



名古屋市教育局賞 中二 立松玲奈



名古屋市教育局賞 小三 岩間有沙

余山 遥香 ○小学二年 和田ひまわり
渡辺 望結 太田 樹 渡辺 真生
荒川 遼成 龍井美仁依 ○高校一年 加藤 美咲

井岡 真優 ○小学一年 石井 麗 加藤 夢捺
石井 陸仁 久野 莉佳 石原 菜緒 河村 明依

石川 聡子 久野 莉佳 石原 颯真 北川 智子
磯崎 爽葉 入交 優輝 北野 愛珠 若山 鈴奈

岩瀬 杏彩 太田 里菜 久野 愛実 ○中学二年 青田 真奈
岡田 泰征 小川 公寛 大野さなえ 浅井 暖登

片山 鈴奈 久野 航暉 小栗 礼登 齋藤 奏江
加藤 希美 棚橋 洋奈 片山 沙弥 榊原 杏美 有川 怜志

川口 美咲 田辺 結華 加藤小百合 塩谷 真希 安藤満里子
佐藤 あみ 服部 美樹 神谷 彩華 菅谷 郁美 石橋 佑佳

松本 羽叶 坂野 遥香 皆本 愛美 福岡由里子 笹田 瑛万 市原輝久子
翠 花那子 平田 里歩 芝 優里花 鈴木理香子 稲山 太郎

皆本 愛美 福岡由里子 白田 祥果 鈴木 莉乃 上野あやめ
吉原 晴菜 ○高校二年 高木 彩花 榎倉 彩乃 上野 穂花

浅井 優里 岩川 浩輝 杉本 麻矢 高木 彩子 大津さくら
石川 諒一 上戸 日向 高桑 亜里 田中 敦志 小川みさと

市川翔太郎 海老さくら 谷澤 梓 田中 里奈 音部 絢子
伊藤 史織 太田 葉乃 橋本 悠花 谷口 由奈 片山 侑花

栗山 遙夏 大藪稜二郎 長谷川琴音 田宮 佑至 加藤 璃子
相馬 亜美 小笠原美佳 菱田 莉子 都築 美実 神座 里奈

中川 優瞳 岡本 奈子 平川 瑞樹 中島 彩乃 河合 香蓮
矢代 結愛 加藤 郁海 水島 咲紀 西川 優生 河合菜々子

○小学四年 北村 香澄 山本奈々江 西口 彩菜
安達 夕貴 佐藤 万侑 山本 美風 西村 恵 河口 彩菜

荒井秋日子 篠原 直輝 幸野 朱里 丹羽 夏生 黒野 宗大
大野 桃果 鈴木 智子 有本 菜桜 ○中学三年 平野 泰輝 桑原 野綾

小川 真矢 中野 里保 石黒 芽里 不破 恒成 藤戸 桃香
笹田 愛華 中村 友哉 石島 史織 前田 瑠南 五十川真緒

塚本 万愛 野村 奈央 伊藤ゆいな 増田 紀花 齊場 風沙
○小学三年 太田さくら 深谷祐加里 岩川 実花 佐藤 彩乃

高井 まき 溝口 真梨 岩田 蓮 宮川 芽依 桜井 彩乃
新井本佳和 山崎 優有 岩田 華奈 村瀬 詩織 佐藤 菜保

早河 有花 山村 朋子 加藤 聖夜 村田 茜音 柴崎 愛香
横山明日香 加藤 聖夜 村田 茜音 柴崎 愛香 島戸 響矢 鈴木 愛華

中日書道会賞 高二 浅野由希恵
 高ニ 浅野由希恵

中日書道会賞 高一 野田結愛
 高ニ 野田結愛

中日書道会賞 中三 井上歩香
 中ニ 井上歩香

中日書道会賞 中二 薫愛佳
 中ニ 薫愛佳

中日書道会賞 中二 古怒田愛美
 中ニ 古怒田愛美

中日書道会賞 中二 西垣朱梨
 中ニ 西垣朱梨

中日書道会賞 中一 宮田美来
 中ニ 宮田美来

中日書道会賞 小六 焦一媛
 小ニ 焦一媛

中日書道会賞 小六 鈴木千遥
 小ニ 鈴木千遥

中日書道会賞 小五 赤塚望
 小ニ 赤塚望

中日新聞社賞 高二 岡田真奈
 中ニ 岡田真奈

中日新聞社賞 高二 山田美咲
 中ニ 山田美咲

中日新聞社賞 高一 今井真子
 中ニ 今井真子

中日新聞社賞 高一 渡邊祐奈
 中ニ 渡邊祐奈

鈴木 佑菜
 千石 桃加
 高田 夏朋
 武内 香凜
 田牧 朋花
 田村 茜音
 辻 涼颯
 土井 聖
 富田 明歩
 中尾 恭子
 長坂 帆夏
 長崎 篤子
 中濱 壯大
 西出 光希
 丹羽慶次郎
 野田 桐子
 長谷川凜乃
 長谷部颯汰
 林 千晶
 早瀬 梨里
 藤田 玖巳
 舊谷 希
 堀田 楓乃
 前田 果那
 前田 奈摘
 間瀬ちなつ
 三浦麻名沙
 水野 実咲
 水野 杜彦
 水野 里砂
 溝口永輝也
 村田 景星
 村田 望碧
 村田 万桜
 森 彩奈
 横地真以子
 横山 円香
 渡邊 七海
 青柳 来幸

浅田 早恵
 安達 陽菜
 石川 紗衣
 伊藤 有澄
 伊藤 夢加
 岩内ひかり
 右近 淳乃
 大野 杏莉
 小川 紗矢
 奥田 由貴
 折居 美保
 春日 愛実
 加藤 春那
 亀井 柚花
 賀茂 恵菜
 川合 佑佳
 川瀬 愛加
 木村友希乃
 木村 玲菜
 栗本 栞
 桑山かなみ
 後藤向日葵
 齋藤 夢
 酒井 玲奈
 坂元 響介
 佐野 真央
 芝波田凜花
 杉山 晴一
 鈴木 悠斗
 高橋 姫花
 戸崎 海
 中谷 有里
 中野 優子
 成田 陽菜
 根本 錬
 野倉 麻由
 橋本 侑果
 久方 歩
 平松 那実
 平松 日和

深谷 梨央
 藤島 紗綾
 不破有由里
 前田 紗希
 前田 桃伽
 水谷 元徳
 水谷 唯花
 水野 颯希
 宮崎 梨乃
 宮本 実咲
 安井 絢咲
 山本 悠菜
 吉原 凪
 渡部 誉子
 会田夕樹乃
 阿由葉紫恩
 板倉 百香
 市川 夢歩
 市橋 果歩
 一柳采弥香
 伊藤 未光
 内田 壮祐
 越前 咲音
 大鹿 桜
 太田 蓮
 大野 未莉
 大橋 綾乃
 加藤 碩留
 神蘭 七瀬
 神谷 奈那
 川辺 美琴
 草深 聡
 柳田 羽納
 葛谷 朋香
 熊野 悠希
 酒井千早季
 杉浦 桜空
 杉浦 怜生
 杉本 創哉

炭竈 心音
 田上明日香
 妙中 文音
 竹田 仁平
 竹味 紗良
 多湖 由海
 田村 華音
 津嘉山莉桜
 恒川 帆夏
 恒川 奈弓
 恒川 麻衣
 恒川実咲樹
 戸田 碧
 中西 碧
 中西麻奈美
 中野 弥美
 中村 天音
 西山 夏野
 二村 真生
 丹羽美紗姫
 野田 柚希
 野見山日南乃
 野松 詩野
 福富 友香
 舟橋 優
 古澤樹菜里
 堀川 舞祐
 堀川 聡子
 前田あずみ
 牧 和花奈
 松岡 優太
 水野 遥月
 村井咲耶香
 柳 侑吾
 柳澤 心那
 山口 純玲
 山下 榎未
 吉田 康輝
 浅野 真矢

石田琉里子
 井上 仁
 岩月 葵
 梅村 佑奈
 エリーシニア
 大久保さくら
 太田 美住
 大薮 来幸
 柿本 琉生
 小高 未稀
 葉名 柚香
 高木 愛央
 高田 朋輝
 津志 桃愛
 寺嶋 希星
 西江 快斗
 西村 桜祐
 野田 桃加
 深谷 紗羽
 福井 彩華
 伏見 紗英
 増田 朱音
 南山 香
 三宅 慶輝
 宮崎 祐衣
 宮下 心寧
 山田佳乃子
 山中満里奈
 原田 桃佳
 林 弥生
 西尾 夏貴
 中西 麻友
 中村 壽愛
 中田 光紅
 杉村 蓮里
 澤田 璃虹
 木下 陽介
 小野 美結
 大澤 遥
 石黒 比菜
 村山 樹
 水谷 竜琉
 東野 佑飛
 原 優梨
 服部 真緒
 西村 玲奈
 鐵具 愛華
 筒井 千代
 田村 重
 谷 柚希
 須増 朋花
 鈴木 明依
 杉浦 鉄朗
 柴田 美優

藤森 和香
 藤川 和子
 石川 倅
 石田結理奈
 重村 優仁
 花田 凛
 福永 梓織
 加藤 陸登
 小学二年
 小学一年
 小学五年
 小学六年
 小学三年

中日新聞社賞 中三 加藤 亜実
質実剛健
中三 加藤 亜実

中日新聞社賞 中三 小池南々葉
初日富士山
中三 小池南々葉

中日新聞社賞 中三 山田あゆみ
天馬行空
中三 山田あゆみ

中日新聞社賞 中二 大橋 茉奈
大願成就
中二 大橋 茉奈

中日新聞社賞 中二 坂下 彩音
春雲五色開
中二 坂下 彩音

中日新聞社賞 中二 佐田尾香音
瑞雲満梅花
中二 佐田尾香音

中日新聞社賞 中二 白木 友梨
林間鶴帯雲還
中二 白木 友梨

中日新聞社賞 中二 高松 一茶
羣賢畢至
中二 高松 一茶

中日新聞社賞 中一 稲垣 入葉
人類の幸福
中一 稲垣 入葉

中日新聞社賞 中一 田中 創也
夢の実現
中一 田中 創也

中日新聞社賞 小六 大鹿 桃
世界遺産
小六 大鹿 桃

中日新聞社賞 小六 水野 真歩
希望の道
小六 水野 真歩

中日新聞社賞 小五 井上 詩織
良き初春
小五 井上 詩織

中日新聞社賞 小五 蟹江 彩葉
希望の朝日
小五 蟹江 彩葉

中日新聞社賞 小五 蟹江 彩葉
希望の朝日
小五 蟹江 彩葉

奨励賞
 ○高校三年 岩本 優美
 三浦 千佳
 越水 菜月
 河村 留利
 柴垣 弥生
 ○高校二年 伊藤 知香
 鈴木 彩香
 早川 舞
 西脇 可奈
 瀬尾 夏葉
 大井 真裕
 村岡 実幸
 大嶋 莉衣
 三宅 拓郎
 竹内くるみ
 松尾 健生
 筒井 愛弓
 柴野祥太郎
 岡田 花音
 角田紗也花
 奥山日出美
 増田 彩友
 山下 凌
 早川 真由
 家田 桃子
 後藤 雄介
 森田 早織
 佐藤 麻世
 田代 千尋
 森島 柊花
 水谷 実来
 阪野 絢華
 稲垣 彩乃
 長谷部真子
 牛島奈都美
 近藤さつき
 森 亮斗
 福島 峻太

○高校一年 山下 朋子
 桜井 冴梨
 間瀬 彩未
 切島明日香
 伊藤玖留未
 佐藤のどか
 鈴木 雅人
 岩本ひめ華
 長谷川朋美
 大山 凌
 小村 智美
 館 朋伽
 水元 康誠
 松下 真衣
 篠原 和真
 塚崎 純礼
 若林 万鈴
 安藤 里咲
 堀尾真喜子
 仲野 水萌
 渡會 紗良
 鈴木新之介
 近藤 咲
 山邊 彩花
 若林 明和
 山田 菜摘
 岩谷 梨瑚
 柴田 遥斗
 久米由佳梨
 太田 千夏
 村田 真悠
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○中学三年 栗本 萌加
 高村美由音
 佐賀 礼花
 今西 葉月
 野田 瑞希
 齊藤 春花
 吉田 慧七
 廣木 富美
 藤田 小夏
 青石結太郎
 斎藤 清香
 妙中 美月
 長野 成秀
 吉村 藍
 神谷 綾乃
 谷澤 寧音
 宮崎日菜子
 野々村季穂
 杉浦 鈴
 野田明咲輝
 北村 優果
 渡邊 花野
 奥村 尚子
 西村 奏美
 中村 由妃
 喜田友里香
 安藤 萌梨
 上野 涼葉
 長尾 真子
 三島 未琴
 山川 千尋
 山本 麻央
 阿部 雄斗
 稲垣 萌美
 藤田 実来
 大月 陽愛
 井上 豊隆
 児玉 奈美
 鈴木利奈子
 河内ひなた
 森 衣舞貴
 伊東 紗穂
 堀田 はな
 森田 環
 山田 尚美
 濱田 美花
 高野 紗矢
 大迫 佳苗
 都築 祐賀

○中学二年 永井 文楓
 千田 泰輝
 開原 優衣
 西原 万里
 木下 歩美
 南谷 佳香
 大倉 沙藍
 若田 彩夏
 岩田 純
 加藤 風輝
 松尾 萌花
 福井 実侑
 廣瀬 剛毅
 河合 彩花
 池田 晴香
 森 陽愛
 大月 豊隆
 井上 奈美
 児玉 奈美
 鈴木利奈子
 河内ひなた
 森 衣舞貴
 伊東 紗穂
 堀田 はな
 森田 環
 山田 尚美
 濱田 美花
 高野 紗矢
 大迫 佳苗
 都築 祐賀

○中学一年 吉田 慧七
 斎藤 春花
 野田 瑞希
 今西 葉月
 野田 瑞希
 齊藤 春花
 吉田 慧七
 廣木 富美
 藤田 小夏
 青石結太郎
 斎藤 清香
 妙中 美月
 長野 成秀
 吉村 藍
 神谷 綾乃
 谷澤 寧音
 宮崎日菜子
 野々村季穂
 杉浦 鈴
 野田明咲輝
 北村 優果
 渡邊 花野
 奥村 尚子
 西村 奏美
 中村 由妃
 喜田友里香
 安藤 萌梨
 上野 涼葉
 長尾 真子
 三島 未琴
 山川 千尋
 山本 麻央
 阿部 雄斗
 稲垣 萌美
 藤田 実来
 大月 陽愛
 井上 豊隆
 児玉 奈美
 鈴木利奈子
 河内ひなた
 森 衣舞貴
 伊東 紗穂
 堀田 はな
 森田 環
 山田 尚美
 濱田 美花
 高野 紗矢
 大迫 佳苗
 都築 祐賀

○小学六年 堀田 真歩
 仲野 水萌
 渡會 紗良
 鈴木新之介
 近藤 咲
 山邊 彩花
 若林 明和
 山田 菜摘
 岩谷 梨瑚
 柴田 遥斗
 久米由佳梨
 太田 千夏
 村田 真悠
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学五年 井上 詩織
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学四年 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学三年 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学二年 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学一年 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

○小学 蟹江 彩葉
 堀田 敦嗣
 松林 美玖
 宮本 朱
 神谷 詩織
 榎谷あやか
 三田安寿美
 山森 滉太

中日新聞社賞 小五 長谷川叶美
初春の空
 五年 長谷川叶美

中日新聞社賞 小四 加藤ひなた
共に歩む
 四年 加藤ひなた

東海テレビ放送賞 高二 大羽 千晶
 平野 佑輔
新春福祿寿
 高一年 平野 佑輔

東海テレビ放送賞 高一 平野 佑輔
新春福祿寿
 高一年 平野 佑輔

東海テレビ放送賞 中三 一色 春花
質實剛健
 中三年 一色 春花

東海テレビ放送賞 中三 岩下 菜穂
生命の尊重
 三年 岩下 菜穂

東海テレビ放送賞 中二 吉川 雲母
新雪銀世界
 中二年 吉川 雲母

東海テレビ放送賞 中二 依田 夏実
富士山雲海
 中二年 依田 夏実

東海テレビ放送賞 中一 石原永実菜
和気致祥
 中一年 石原永実菜

東海テレビ放送賞 小六 甲斐璃乃花
夢の実現
 六年 甲斐璃乃花

東海テレビ放送賞 小六 真野 青空
雲海飛行
 六年 真野 青空

東海テレビ放送賞 小三 大野 史華
生きる力
 小三年 大野 史華

CBCテレビ賞 高二 深谷 侑以
生きる力
 高二 深谷 侑以

CBCテレビ賞 高一 大橋明日香
生きる力
 高一 大橋明日香

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 原田 瞳毬 | 寺嶋 湖々 | 今西 舞羽 | 小田 芽寧 | 鈴木 菜生 | 政井 莉歩 | 加藤 旭 | 久納 千佳 | 白鳥 未悠 | 林 彩寧 | 村上 涼 | 野村 真佑 | 鈴木 祥保 | 吉村 美優 | 畑中 七海 | 山口紗也加 | 内田 菜月 | 木原 楓 | 松田 結以 | 茶谷 七聖 | 平山 めぐ | 山田 莉彩 | 中村 日菜 | 松下 陸 | 木村 香恋 | 林 里佳 | 黒川 翼 | 野口菜々美 | 中嶋 虹湖 | 大霜 花音 | 早川 佳歩 | 浅野 希帆 | 新谷 桃佳 | 鈴木あかね | 田代 祐加 | 井田 陽香 | 桂川 夏実 | 石田 朋花 | 渡辺 藍咲 | 福田 楓果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高松 香穂 | 本田 泰良 | 福本 紗也 | 酒井 祐奈 | 平田 梨乃 | 小瀬 葵 | 戸田真菜華 | 伊藤 桜音 | 中野 綺華 | 岩崎 名菜 | 後藤 大輝 | 板倉 杏 | 森 瑞稀 | 吉田 透吾 | 川端真由加 | 小西 美玖 | 市川明日香 | 神田あいり | 森本 悠太 | 鈴木 麗美 | 岡崎 優斗 | 永田 結愛 | 野崎 恭子 | 戸崎 紫咲 | 井藤 朱織 | 永田 彩乃 | 石橋 晃樹 | 芝 凌平 | 立藤 愛唯 | 犬飼 菜月 | 大野 智加 | 柴田 奈波 | 山田 真子 | 早川 夏光 | 横山 颯 | 畑山いつみ | 藤本ひなた | 磯部 莉子 | 丹羽凛愛子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 後藤 詩歩 | 三輪 天音 | 加藤 杏菜 | 小山 紗季 | 河村 吉則 | 伊藤 綾花 | 伊藤 美奈 | 沼倉 由依 | 永井 美帆 | 富岡 右京 | 鈴木 凛 | 鈴木 朱音 | 山ノ内くれは | 氏政鶴羽姫 | 日比野 楓 | 中山 萌 | 守屋 百花 | 小野 桃香 | 伊藤 萌 | 坪井 莉子 | 早河 百花 | 清水 伸晴 | 杉本百々香 | 佐々木皓基 | 太田 千晴 | 西村 美咲 | 光本 羽那 | 羽鳥 晃生 | 斉藤 琴葉 | 鈴木 瑞季 | 神谷 凜 | 加古 美花 | 安藤なつみ | 伊藤 帆乃 | 水上 愛梨 | 柴田 美夢 | 鈴木 琴弓 | 村木 悠馬 | 山崎 悠雅 | 細田 華映 | 土田 明穂 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 河村 優花 | 岩田 乃愛 | 池田 芽生 | 汲田 愛理 | 小島 優希 | 池田 彩華 | 井上 琴理 | 松崎かのん | 大島 優季 | 赤池 香保 | 大橋 莉子 | 長谷川一花 | 木村 歌暖 | 平本 笙起 | 日比野 楓 | 小林さくら | 佐藤 陽飛 | 伊藤 萌 | 坪井 莉子 | 浦本あゆり | 早河 百花 | 清水 伸晴 | 杉本百々香 | 佐々木皓基 | 太田 千晴 | 西村 美咲 | 光本 羽那 | 羽鳥 晃生 | 斉藤 琴葉 | 鈴木 瑞季 | 神谷 凜 | 加古 美花 | 安藤なつみ | 伊藤 帆乃 | 水上 愛梨 | 柴田 美夢 | 鈴木 琴弓 | 村木 悠馬 | 山崎 悠雅 | 細田 華映 | 土田 明穂 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 浅野 星来 | 平岩 円花 | 小塚あかり | 稲垣 若菜 | 伊藤 優希 | 渡邊菜々香 | 岡田 享也 | 橋本 裕英 | 赤松 夢心 | 鷹見 秀真 | 山下 萌枝 | 平出 勝大 | 中島 花梨 | 坂田 実優 | 日渡 琴美 | 原 さくら | 佐野 蒼太 | 佐野 混太 | 名知萌々香 | 村岡 咲幸 | 多田 進哲 | 桐井 遥 | 宮下 瑞樹 | 伊藤 寧音 | 鈴木ののか | 丹羽ななか | 高井 心園 | 菅沼 歩夢 | 今井 結梨 | 青山 奈都 | 鈴木 琴水 | 諸戸 有彩 | 大友 理好 | 黒川 陽莉 | 町野 佑輝 | 堀 雅美 | 東山このか | 立花 凛 | 日比野萌子 | 寺島 瑞希 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小林 菜生 | 小林 七海 | 鈴木 優菜 | 常藤 光 | 柴田 花 | 早瀬 巴瑛 | 古田菜々美 | 出口 晴捺 | 植野奈々子 | 太田 千尋 | 山田 麗 | 高田 一成 | 白橋 和香 | 一江 智子 | 近藤沙也加 | 阿保 彩巴 | 水野 涼子 | 福井 菜織 | 竹中 里帆 | 佐藤 碧紗 | 古庄 琴音 | 西脇 有紗 | 宇佐美結斗 | 近田 真子 | 田中 美穂 | 磯村日菜乃 | 佐原 主馬 | 河崎 友花 | 中村野乃夏 | 部田峻一郎 | 盛合 結季 | 安室 咲希 | 岡田 理沙 | 黒川 陽莉 | 町野 佑輝 | 堀 雅美 | 東山このか | 立花 凛 | 日比野萌子 | 寺島 瑞希 | 横山あずさ | 松本 紗耶 | 小島 怜夏 | 吉本 有里 | 金 兌行 | 津田 明佳 | 吉川未之里 | 野田 遥愛 | 早川 亜胡 | 加藤 詩理 | 福岡 夏歩 | 廣川果沙実 | 小松 真子 | 糸魚川泰一 | 森永 ゆず | 棚橋健太郎 | 岡本 一希 | 新美 友菜 | 平田航太郎 | 阪口 巴菜 | 浦本あゆり | 坪井 莉子 | 伊藤 萌 | 佐藤 陽飛 | 小林さくら | 日比野 楓 | 氏政鶴羽姫 | 日比野 楓 | 中山 萌 | 守屋 百花 | 小野 桃香 | 伊藤 萌 | 坪井 莉子 | 浦本あゆり | 早河 百花 | 清水 伸晴 | 杉本百々香 | 佐々木皓基 | 太田 千晴 | 西村 美咲 | 光本 羽那 | 羽鳥 晃生 | 斉藤 琴葉 | 鈴木 瑞季 | 神谷 凜 | 加古 美花 | 安藤なつみ | 伊藤 帆乃 | 水上 愛梨 | 柴田 美夢 | 鈴木 琴弓 | 村木 悠馬 | 山崎 悠雅 | 細田 華映 | 土田 明穂 |

CBCテレビ賞 中三 石川 優奈

龍池望五雲

三年 石川 優奈

CBCテレビ賞 中三 牛丸由理佳

花開春氣深

中三 牛丸 由理佳

CBCテレビ賞 中二 石田 千紗

雄大な姿

中二 石田 千紗

CBCテレビ賞 中二 今井 悠人

富士山雲海

中二 今井 悠人

CBCテレビ賞 中一 林 明奈

元朝の富士

中一 林 明奈

CBCテレビ賞 小六 柳田 優衣

北斗七星

六年 柳田 優衣

CBCテレビ賞 小四 鬼頭 莉央

初もうで

四年 鬼頭 莉央

CBCテレビ賞 小一 加藤 嵩人

みらい

一年 加藤 嵩人

橋本 華菜 西村美乃莉 小島 彩音
 豊島 心咲 木村穂乃花 馬淵 彩栄
 榎本みゆう 山口 優佳 飯沼 友那
 村上 涼菜 宮下 優花 樋口 柚那
 釘本 朱音 ○小学五年 高澤 優里
 加藤 伊織 塚本 羽那 松下 歩果
 白井 美空 奥田 奈菜 深谷 倅汰
 岡村 咲奈 服部百合菜 上田 修大
 岡田 涼那 岡田 由香 判治 孝哉
 矢田 琴美 平川 天真 林 千尋
 稲垣 亜優 篠畑 杏奈 篠田 宙来
 大津こころ 村松 美月 伊藤 優花
 井藤 咲良 蛇川 莉那 山下 祐生
 犬島菜々乃 森 愛由菜 村瀬 称子
 甲斐 美優 中西 真尋 田下 葵
 美濃輪芹菜 高谷允佐年 堀尾 美葉

清水 美佑 中田 和未 長谷川紗良
 松村 知宥 藤村 真央 大野友美加
 森田 蓮 小川 希星 河瀬歩乃果
 金子 芽愛 澤近 綾乃 柴垣 結菜
 吉田 海緒 弓矢 真夕 稲垣 有芽
 山内 奏穂 松原 尚岳 伊藤 妃生
 加藤 和泉 伴 有瞳 大川内 暖
 半谷 謙成 彩花 林 風花
 梅本 菜那 角田 遥 奥村 莉名
 小縣 綾 麻桜 平井 亜樹
 古田 晃汰 林 玲那 森 音羽
 早川 世渚 柴田 陽菜 山田 哲誠
 小林 美優 藤墳 奈実 石黒 咲希
 杉山 輝恵 田崎 志歩 庄田 祐良
 櫻井 裕女 森 聡士 山田ひなた
 杉本 奈央 柴田 汐依 柴山祐里奈

○小学四年 早川 実那 近藤 愛梨
 真野 蓮音 田島 香音
 井手 瑞穂 片岡 杏胡
 栗田 優 高峰 心優
 水谷 健人 高峯 真優
 伊藤 美嬉 丹沢 凜
 犬飼 和希 戸口ゆず菜
 外村 望恵 野々川莉央
 中島 千和 中野 愛弓
 山内葉瑠奈 新海 真子
 門脇 茉莉 大石ゆりか
 小山あいり 吉田 梨乃
 内山 小春 吉野 温人
 牧戸 ゆら 桑原 彩華
 青木咲央理 日沖 埜乃
 山田 乃愛 ○小学三年 大澤 真歩
 渡邊 結芽 上野 聖蘭
 鈴木 里奈 山中 葵
 横山 大悟 諸戸 瑠香
 長深田 輝 吉田 敢紀
 本間 日彩 森 文乃
 安藤 歩楓 大野心乃葉
 長谷川琴未 遠山純太郎
 稲垣 心葉 寺尾 宗嗣
 堀池 公月 久保ひかり
 品川 律歌 福田 あり
 谷川 瑠菜 石寄竜之介
 石寄竜之介 中野 陽太
 竹内 友哉 小村幸太郎
 竹内 友哉 横井 奈々
 竹内 友哉 深尾 孟史
 伊藤 紅葉 加藤 千帆
 加藤 来夢 仙田 新
 高橋 璃莉 水野 幹太
 天野 咲音 北原 美彩
 森下 咲音 唐澤 大空
 竹内 花帆 村松 千優
 横山ゆずか 木村 心春

○小学二年 松本 佳月 小島 彩椰
 渡辺 咲子 鈴木 蘭璃
 角田 蘭璃 辻 拓朗
 小泉 陽菜 石黒ののか
 渡邊 咲 田中 秀弥
 戸口ゆず菜 齊藤 楓
 高峯 真優 緒方 由乃
 関戸 亜莉 酒井 香穂
 片岡 杏胡 伊藤 るな
 田島 佑奈 小坂 幸慈
 真野 蓮音 猪谷 香音
 井手 瑞穂 田島 佑奈
 栗田 優 片岡 杏胡
 水谷 健人 高峯 真優
 伊藤 美嬉 丹沢 凜
 犬飼 和希 戸口ゆず菜
 外村 望恵 野々川莉央
 中島 千和 中野 愛弓
 山内葉瑠奈 新海 真子
 門脇 茉莉 大石ゆりか
 小山あいり 吉田 梨乃
 内山 小春 吉野 温人
 牧戸 ゆら 桑原 彩華
 青木咲央理 日沖 埜乃
 山田 乃愛 ○小学一年 牟田 佳月
 渡邊 結芽 上野 聖蘭
 鈴木 里奈 山中 葵
 横山 大悟 諸戸 瑠香
 長深田 輝 吉田 敢紀
 本間 日彩 森 文乃
 安藤 歩楓 大野心乃葉
 長谷川琴未 遠山純太郎
 稲垣 心葉 寺尾 宗嗣
 堀池 公月 久保ひかり
 品川 律歌 福田 あり
 谷川 瑠菜 石寄竜之介
 石寄竜之介 中野 陽太
 竹内 友哉 小村幸太郎
 竹内 友哉 横井 奈々
 竹内 友哉 深尾 孟史
 伊藤 紅葉 加藤 千帆
 加藤 来夢 仙田 新
 高橋 璃莉 水野 幹太
 天野 咲音 北原 美彩
 森下 咲音 唐澤 大空
 竹内 花帆 村松 千優
 横山ゆずか 木村 心春

○幼年 松浦 碧依 大澤 直人 柴田 苺依 瀬戸口 健人 濱島 織江 三浦 悠人 青山 紗幸 熊澤 一乃 竹谷 友那 田端 葉月

応募点数..... 15,949点

入賞数

文部科学大臣賞..... 1名	中日書道会賞..... 10名	名誉会長賞..... 105名
愛知県知事賞..... 3名	中日新聞社賞..... 20名	理事長賞..... 115名
岐阜県知事賞..... 3名	東海テレビ放送賞..... 10名	推薦..... 379名
三重県知事賞..... 3名	CBCテレビ賞..... 10名	奨励賞..... 696名
名古屋市長賞..... 3名		特選..... 1,228名
愛知県教育委員会賞..... 3名		準特選..... 4,769名
岐阜県教育委員会賞..... 3名		秀逸..... 3,986名
三重県教育委員会賞..... 3名		佳作..... 3,132名
名古屋市教育委員会賞..... 3名		入選..... 1,464名

第五位	第四位	第三位	第二位	第一位	団体賞
牧書会	墨游会	書玄会	牛刀会	童友会	

新入会員紹介 (四月分)

●本部	大嶽 旭華	川瀬 実咲	佐藤 清華	谷 利香	三宅 敬子	高木 紅絲	●北勢支部	岩崎 由美
安保 育子	大村 瑞苑	神崎 紫陽	澤木 雅人	寺尾 洌	宮澤美和子	東海 眉虹	奥山 由紀	
石川 桃露	岡野 芳樹	木村香代子	澤山 光琳	藤社 葉子	宮本 幸子	永井 利樹	濃沼 紀恵	
井出 翠風	沖 高司	桐山 彩華	篠崎 芳園	内藤 蒼月	村上 富子	中瀬 光舟	●中南勢支部	白井 孝心
伊藤 文野	小野 友香	國枝佑衣子	下村 佳風	中野 和陽	村山 令奈	永田 朝照	●岐阜支部	白井 孝心
伊藤 華暎	各務 香扇	久保田香穂	菅野 茜	中村 紅苑	森下 景斗	野村 香月	●西三河支部	渡辺 紗里
伊藤 舒榮	片山 玲華	熊谷 涉	杉本賢士朗	中山 春景	森本 柳美	服部 久敬	●東三河支部	宇都野美代子
伊藤 雛子	加藤 敦美	熊切 純暇	鈴木華歩子	西岡 美穂	山田 恭子	花木 寛城	●東三河支部	河合 裕子
伊藤 稚子	加藤 研真	栗本 清芳	鈴木 環翠	山田 美穂	山田 高清	濱田 梨沙	鈴木 和子	
井上 美雪	加藤 新菜	河和 節子	鈴木 洋廣	丹羽 錦龍	山田 桃子	平野 城山		
今井 彩乃	加藤 雄遠	小島 徹	世古 瑠菜	山田 清風	湯浅はるか	渡辺 紗里		
今井 徳弥	加藤 蘭宇	是枝みえ子	高木 賀代	長谷川積翠	湯浅はるか	余吾友理恵		
宇野 央子	加藤 里菜	佐伯 青翠	高木 悠花	服部 和子	服部 和子	横井多恵子		
大池 遥	加藤 嶺花	櫻木 彩香	高山 莉瑠	幅 早苗	馬場 桃連	吉田 桃月		
大島 慶玼	加藤 玲那	笹本 菜月	武市 佳峰	馬場 早苗	若杉麻祐子	川本美由紀		

佐々木 崑邦氏

豊田市市制功労者表彰ご受賞

〔市制六十六周年記念式典にて〕

社中展・個展のご案内

本会会員による書展のご案内を会報及びHPにてさせていただきます。会報には案内原稿を、HPには展覧会案内用ハガキを本部迄お送り下さい。

次号は八月中旬〜十一月中旬の展覧会を掲載予定です。

編集部

※今号の掲載依頼はございませんでした。

心より哀悼の意を表し
ご報告申し上げます。
(厚生部)

○平成28年11月
正会員 都築陵仙氏 享年88才

○1月4日
評議員 鳥居竹泉氏
ご尊父 都築良昭様 享年88才

○1月15日
評議員 森 京華氏
ご主人 務様 享年85才

○1月16日
参与 佐々清香氏 享年96才

○1月25日
顧問 佐野桃子氏 享年92才

○3月20日
正会員 朝井昭葉氏 享年89才

あとがき

・会報一八四号をお届けします。

・新年度の四月を迎え「新たなやる気」のもと中日展に向け船出、約三ヶ月の長旅が今年も始まっています。

・時間は待たなし 二十二年振りの日本人横綱稀勢の里の相撲に懸ける「一心」の如く、私達も「無心」で「自分に克つ」ことのみの追求を楽しみたいものです。

(編集部)

支部だより (平成二十八年度) 下半期

一宮支部

支部長 岩田潤流

●研修旅行

日時 十月三十日(日)
行先 日比野五鳳記念美術館・郡上他
参加者 一、二一名
朝七時五十分一宮を出発。九時頃、岐阜県神戸町「日比野五鳳記念美術館」に到着。かな書壇の大家五鳳先生の作品を鑑賞。その後、バスは郡上方面へ。郡上八幡城麓の「ホテル積翠園」での懇親昼食会後は、郡上の町並みをぶらりと散策。そして再度バスにて「古今伝授の里ワールドミュージアム」と「美濃和紙の里会館」を訪ねました。深まり行く秋を楽しみながらの、充実した学びの旅でありました。

●支部講演会

日時 二月五日(日)
会場 一宮スポーツ文化センター
講師 公益社団法人中部日本書道会
理事長 伊藤昌石先生

演題 「三体千字文から得た勉強方法」
——楷・行・草から定義発見——
聴講者 一五二名(内会員外一四名)
伊藤先生の長年に亘る三体千字文の研究を通して発見された、楷・行・草の定義をはじめ、ご尊父故伊藤昌石先生の思い出話もご披露されるなど、ユニークな口調での講演は和やかな雰囲気が進められ、貴重な学びの場となりました。



講演会

●支部集会・交流会

日時 二月五日(日)
会場 支部集会 一宮スポーツ文化センター
交流会 真清田神社参集殿

出席者 支部集会 一三三名 交流会 一、二六名
副理事長松永清石先生、副理事長兼事務局長関根玉振先生に臨席賜り、二十八年度事業報告と二十九年度事業計画が承認されました。また、役員改選があり、次期支部長に川浦碧濤氏が選出されました。

交流会においては、本部の先生方に加え、地元議員の先生方、一宮市教育委員会教育長、一宮市芸術文化協会会長、協賛者の方々など多くのご来賓をお迎えし、和やかに開催致しました。



支部展



学生書道展

第七十一回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長伊藤昌石先生はじめ、副理事長松永清石先生、副理事長兼事務局長関根玉振先生、企画委員長兼総務部部長大池青岑先生の賛助出品を賜りました。搬入陳列も手際よく進み、一宮支部員の「一致団結」を強く感じました。短い時間ではありましたが、多種多様に表現された書作による、深遠な芸術の森を散策することができ、心満たされました。

●第四十五回一宮支部学生書道展
支部展と同時開催 総出品点数 三、六一七点

半田支部

支部長 山内江鶴

●第二回公開書道研修会

日時 十月二十三日(日)
会場 クラシティ半田
参加者 三十八名(一般受講二十九名)
講師 第二企画部長兼工部部長 上小倉横山先生
副理事長兼事務局長 関根玉振先生
第一企画部長兼工部部長 横井宏軒先生
「蘭亭序について」をテーマに、上小倉先生より古典の見方、学ぶときの心構え、字の特長やその書き方をご指導いただき、その後三人の先生方による実技指導をいただきました。短い時間でしたが次回開催を約束し、惜しみながら閉会。



研修会風景

●研修旅行

日時 十一月十三日(日)
行先 「美濃・郡上八幡」
参加者 四十名(会員外五名)

秋晴れの中、八時半田を出発。少し早めに紅葉が薫る郡上八幡に到着。静かな清流の古都を散策。しばらくすると聞きなれた近隣国の言葉、やはり観光地。昼食後、「洞戸空記念館」へ高賀溪谷のせせらぎ音を聞きながら最高傑作の一木作り三像、最後の作品といわれる歓喜天を鑑賞。最後は、世界の文化遺産となった「本美濃紙」を鑑賞し、「美濃和紙の里会館」へ、美濃本和紙とは「光を美しく見せる和紙」美術品ではなく暮らしの中で生きる品、これぞ世界遺産。紙漉き体験、いやはや、難しい買い物をして自分の漉いた和紙をみながら帰路に着きました。



研修旅行

●第五十回記念半田支部展

会期 三月二十五日(土)～二十六日(日)
会場 半田市福祉文化会館
出品数 一六〇点
五十回の記念展ということで、併催として先人展と半田市博物館所蔵の黄道周(書幅) 倪元璐(七言絶句) 張瑞図(飲中八仙歌)を展示させていただきました。また、本部から伊藤昌石理事長、松永清石副理事長、関根玉振副理事長、大池青岑企画委員長、井口方燕北勢支部長、高根桂祥中南勢支部長のご臨席を賜り、二十八年度事業報告、会計中間報告、平成二十九年度事業計画、収支予算について審議され承認されました。



会場風景

●支部集会・講演会

日時 三月二十六日(日)
会場 半田市福祉文化会館

支部集会 七十名
参加者 七十名
本部より伊藤理事長、大池青岑企画委員長、井口方燕北勢支部長、高根桂祥中南勢支部長のご臨席を賜り、二十八年度事業報告、会計中間報告、平成二十九年度事業計画、収支予算について審議され承認されました。

講演会
集会后、同会場で伊藤昌石理事長を講師にお迎えして「三体千字文から得た勉強方法」という演題で、ご講演をいただきました。先生の若いころの勉強方法、楷書・行書・草書の三体の字体の説明、字の組み合わせによる字の形成、各書体の約束ごと等、これらの勉強の大切さを教えていただきました。



講演会

西三河支部

支部長 山口律舟

●研修旅行

日時 十月三十一日(月)
行先 山梨
参加者 三十八名
雄大な富士山と河口湖を望む絶景の地である久保田一



研修旅行

●支部会員展

会期 三月一日(水)～五日(日)
会場 刈谷市美術館
出品者 一七八名 入場者 九二六名
本部より理事長はじめ四名の先生方の出品を頂き、一段と重厚さが加わり盛大に開催することが出来ました。



支部会員展



支部会員集会

●支部会員集会

日時 三月四日(土) 午後二時

会場 刈谷市産業振興センター
参加者 一〇四名
本部より伊藤昌石理事長、山内江鶴半田支部長のご臨席を賜り、事業報告、会計報告、事業計画、役員改選等が承認されました。次期支部長に山口律舟氏が再任されました。

●講演会

日時 三月四日(土) 午後三時
会場 刈谷市産業振興センター
参加者 一二二名
刈谷市副市長川口孝嗣氏をお招きし、「歴史がたなく三河の心」と題してご講演いただきました。地元のことだけに興味深く聴講することができました。



刈谷副市長川口孝嗣氏講演



会員相互の交流会

●交流会

日時 三月四日(土) 午後五時
会場 刈谷市産業振興センター
参加者 一〇一名

●研究会

日時 三月十九日(日)
会場 安城市文化センター
参加者 一〇名

日頃の作品を、社中外の先生にご指導を受ける事ができ有意義な研究会でした。

東三河支部

支部長 古川昇史

●研修旅行

日時 十月二十三日(日)
行先 有松・鳴海絞会館
ヤマザキマザック美術館(名古屋)
参加者 三十五名
今年身近な地域の伝統文化や芸術を学ぼうと、有松と名古屋のヤマザキマザック美術館を訪れました。

始めに有松・鳴海絞会館を訪れました。なまこ壁や江戸時代の商家が建ち並ぶ中に有松・鳴海絞会館がありました。映像で有松絞りの歴史や工程を学習したあと、ハンカチの絞り体験に挑戦しました。絞り職人さんの指導のもと、時間の経つのも忘れ夢中で糸と手を動かしました。終了後、会館近くのお店で昼食をとり、買い物を楽しみながら古い町並みを散歩しました。ヤマザキマザック美術館は名古屋市東区にあり、工作機械メーカーヤマザキマザック株式会社が母体となつ



研修旅行



体験風景

て運営されています。十八世紀から二十世紀のフランス美術品が、優美な内装とゆとりある空間に展示されていました。職員の方の行き届いた案内に感心し、ドラクロア、モネ、モディリアーニ、ユトリロ、シャガール、ピカソ、エミール・ガレ等々の作品を鑑賞することができました。

●支部選抜展

会期 二月七日(火)～十二日(日)
会場 豊橋市民文化会館
出品数 七十六点
入場者 六六三名
顧問の寺田樹風、星川双嶺、村田華穂、権田徳園各先生方、参与の鈴木瑞象、内藤大旺各先生方に玉作を出品していただき、各社中からは会員の個性あふれる作品が出品され、見応えのある選抜展になりました。



選抜展会場風景

会期中は雪が舞う寒い日がありましたが、会員の先生方や地元の書道を愛する方々に多数ご来場いただき、またご指導を賜り、出品者一同新年度に向けて思いを新たにしました。

濃飛支部

支部長 石原 聲 風

●研修旅行

日時 十一月二十日(日)
行先 杉本美術館 アトリエぜんきゅう見学

参加者 二十三名 観光バスで

下呂市を七時半に出発、中津川市、恵那市で会員を乗せ中央道から高速道路で伊勢湾岸道、東海環状道、知多半島道路、南知多道路を進み美浜ICで降りました。杉本美術館は目立ちにくい場所にひっそりと立っていました。新平家物語の挿絵や依頼された広告の数々、風景や人物画の数々、陶器や木工作品も多く展示されていました。良く鑑賞するにはもっと時間があればいいなと思いました。師崎活魚料理の店で美味しい



杉本美術館玄関にて

食事を戴きました。その後、にわぜんきゅうさんのアトリエへ行きました。アトリエにはぜんきゅうさんの作品が所狭しと並べられていました。心洗われるようなことばや絵に魅せられました。帰りには全員に「ありがとう」の心のこもったお土産を戴きました。温かい気持ちを戴き下呂に到着したのは七時頃でした。楽しく充実した研修旅行にみなさん満足された様子でした。



美術館内部



秋の気分を満喫

北勢支部

支部長 井口 方 燕

●研修会

十一月十三日(日)に恒例のバス旅行として三十六名が地元三重県内の「斎宮歴史博物館」、「神宮美術館」等に行ってきました。

行程は、

桑名駅前と近鉄四日市前まで参加者
を乗せ、東名阪・伊勢道を通ってまず「いつきのみや歴史体験館」へ。ここには斎宮が最も栄えた平安時代の寝殿造と



斎宮歴史博物館にて

古代の役所を模した木造建築があり、その中で十二単や直衣など装束の試着、盤双六や貝合わせなど平安時代の体験ができません。今回は時間の都合で体験はしませんが、ボランティアガイドさんの案内で「斎宮歴史博物館」までの道のりを歩きました。途中に発掘中の遺跡があったり古代伊勢道を歩くことで平安時代の貴族の優雅な気分が味わえたように思いました。
「斎宮」は斎王の宮殿と斎宮寮という役所のあった所です。斎王は、天皇に代わって伊勢神宮に仕えるため、皇族女性の中から選ばれて、都から伊勢に派遣された人のことをいいます。斎王制度は六七〇年頃から一三三〇年頃まで約六六〇年ほど続いたよ

うです。博物館では特にハイビジョン画像による斎王群行など分かり易くて良かったと思います。

ランチの後は、「神宮美術館」と「内宮」参拝、おはらい町からおかげ横町と人気定番コースを巡り帰路に着きました。

●講習会



二月五日(日)に四日市市にて実施しました。参加者は六〇名でした。内容は「篆刻事始」と題して小川

匪石先生(三重県書道連盟参与)による講演と先生ご持参の印材等の観賞会でした。印の種類や、印を押す場所、印泥など印を押すことにより書作品は完成し作品は引き締まるなど、熱の入ったお話で時間があっという間に過ぎたように思います。ご持参のグッズは、糸印煎餅の由来となった糸印や封泥をはじめ、印譜、印材、インド・ベトナム・ネパールの印、モンゴル騎馬民族の印などで手にとって観賞させていただきました。初めて見るものが多く篆刻の世界を知る上で非常に参考になるともなるともに、先生のご所蔵の幅広さに驚嘆しました。



小川匪石先生に質問する会員

岐阜支部

支部長 林 玲玉

●研修旅行

日時 十一月二十九日(火)
 行先 奈良国立博物館と酬恩庵一休寺
 参加者 二十七名
 晩秋とは思えぬ程穏やかな日差しを受け、バス一台で奈良国立博物館と酬恩庵一休寺を訪れました。

一休和尚で名高いこの一休寺は元の名を妙勝寺と云い、中国で禅を学び、ここに禅の道場を建てたのが始まりでした。その後、六代法孫の一休禪師が再興し酬恩庵と命名しました。しかし、通称一休寺で知られている方が多い様です。

見事に剪定された松、美しく紅葉したもみじを眺め、又、掃き清められた石庭(方丈庭園)と宝物館等を観て廻りました。静かで落ち着いた一休寺のこの一郭は正に禅寺ならではの情景でした。



研修旅行

奈良国立博物館では、佛像館と青銅器館を鑑賞、飛鳥時代から鎌倉時代までの彫刻作品、青銅器等の国宝を始め、数多くの古美術品や資料が陳列してあります。常設展示ではありましたが特別展にも匹敵する程の豊富な内容の逸品ばかり、鑑賞時間を十分延長して、ゆっくりと観ることが出来、充実した研修の旅でした。

●役員会議・事務局全体会議

三月十九日(日)

役員会議 午後三時三十分～

出席者 十二名

事務局全体会議 午後五時～

出席者 四十一名

平成二十八年度、各部の事業活動報告

平成二十九年度、各部の事業活動計画案

右の項目に従って協議し次年度に向けて計画案を協議いたしました。



事務局会議

愛知県・江蘇省書道展(仮称)と平成29年度史跡探訪研修旅行について

平成29年度は愛知県・江蘇省書道展が11月に江蘇省で開催される予定です。それに併せて「平成29年度国外史跡探訪研修旅行」を計画いたします。詳細がきまりましたらご案内させていただきますので、ご参加下さいますよう、よろしくお願い致します。

理事長 伊藤 昌石
 第1企画部長 横井 宏軒
 第2企画部長 上小倉積山

会費未納の方にお願ひ

新年度がスタートしました。
 平成28年度会費未納の方は、至急お納め下さい。
 (正会員で昨年度中日書道展不出品の方及び準会員の方で未納の方)
 本部会員は、郵便振替 00890-6-14420。
 支部会員は、各支部会計担当者にご連絡下さい。

住所変更、改姓、改号、社中変更等
 変更事項は本部まで書面(封書又はFAX)にてご一報下さい。

052(583)1900

ホームページアドレス
<http://www.cn-sho.or.jp>

メールアドレス
info@cn-sho.or.jp